取扱説明書 - 詳細版 -

液晶プロジェクター

CP-TW3003J

(形名：CP-TW3003)

【ネットワーク編】

このネットワーク編では、本製品のネットワーク機能について説明します。

警 告	ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

はじめに…… 3 - 2
- 使用上のご注意…… 3 - 2
- ネットワーク機能…… 3 - 3

ネットワークへの接続…… 3 - 6
- 必要なシステム環境について…… 3 - 6
- ネットワーク接続手順…… 3 - 7
- 有線 LAN で接続する …… 3 - 7
- 無線 LAN で接続する …… 3 - 9

ネットワークメニュー ……3 - 15

Web コントロール …… 3 - 27
- プロジェクター Web コントロール… 3 - 29
- Crestron e-Control® ……3 - 51

ネットワークプレゼンテーション…3 - 58

マイ イメージ……3 - 61

メッセンジャー ……3 - 62

ネットワークブリッジ ……3 - 65

その他の機能 ……3 - 68

ネットワークからのコマンド制御…3 - 75

トラブルシューティング ……3 - 81

1. はじめに

使用上のご注意 <必ずお読みください>

⚠ 警 告

高温注意

●高温に注意する
別売品の USB ワイヤレスアダプターは、使用中高温になる場合があり、触れるとやけどの原因となることがあります。USB ワイヤレスアダプターを使用する場合は、**USB TYPE A** 端子に直接接続し、アダプターカバーを必ず取り付けてください。
本機を電源に接続した状態で、USB ワイヤレスアダプターを抜き差ししないでください。

⚠ 注 意

● USB ワイヤレスアダプターは、所定のものを使用する
USB ワイヤレスアダプターは、型名（USB-WL-11N）を販売店に指定してご購入ください。

● LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する
ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、**LAN** 端子に接続しないでください。
▶公衆回線に接続する場合は、必ず電気通信事業法認定のルータ等に接続してください。
▶ネットワークをご使用になるには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

お守りください

●無線 LAN で通信を行う場合は、SSID、暗号化などのセキュリティ対策をしてください。セキュリティ対策をしない場合、通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されるなどの問題が発生する可能性があります。無線 LAN に関するセキュリティについては、「ネットワーク設定」（🕮**3-31**）および「ネットワークメニュー」の「無線 LAN 設定」（🕮**3-17 ～ 21**）をご参照ください。
●無線 LAN で通信を行う場合は、Wi-Fi 認定の無線 LAN モジュール、アダプターなどをご使用ください。

別売品の IEEE802.11b/g/n 対応 USB ワイヤレスアダプターは、2.4GHz 帯域の電波を使用します。特に無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容をご理解のうえご使用ください。

●下記の機器、施設の近くでは使用しないでください。
・電子レンジ
・産業・科学・医療機器
・特定小電力無線局
・構内無線局
電波の干渉により、通信速度が遅くなったり通信できなくなる可能性があります。

●お使いになる場所によっては電波の状態が悪くなり、通信速度が遅くなったり通信できなくなることがあります。特に鉄筋、金属、コンクリートなどは電波を通さないため、ご利用の際はご注意ください。

● USB ワイヤレスアダプターが国内で使用できる 2.4GHz 帯域のチャンネル（実際の周波数範囲を複数に分けたもの）は、1 ～ 11 です。

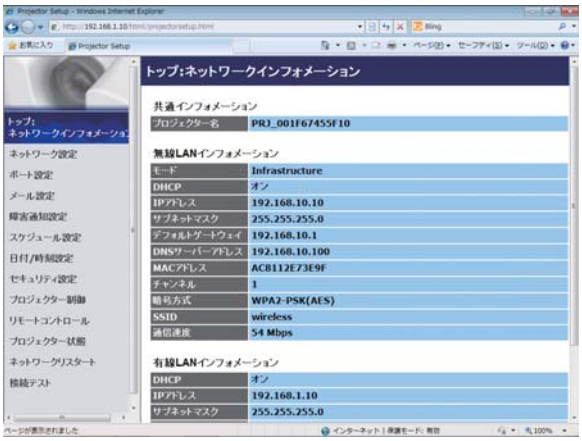
● USB ワイヤレスアダプターは、国外に持ち出すとその国の電波法に抵触する恐れがあります。

ネットワーク機能

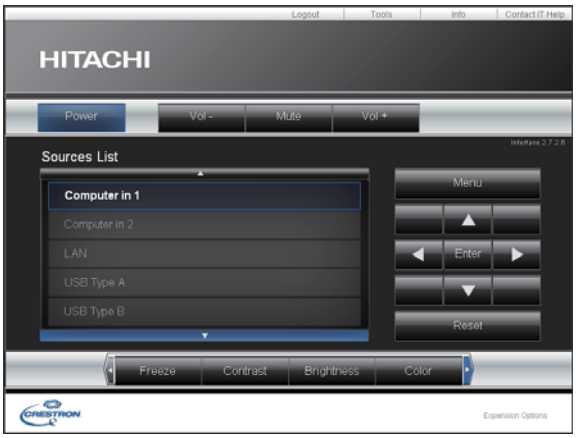
ネットワーク機能の概要について説明します。

Web コントロール

ネットワークで接続したコンピュータの Web ブラウザを使用して、本機を制御したり、各種設定の確認や変更をすることが出来ます。
" プロジェクター Web コントロール " および "Crestron e-Control" の 2 つのインタフェースを使用できます（🕮3-27）。



プロジェクター Web コントロール

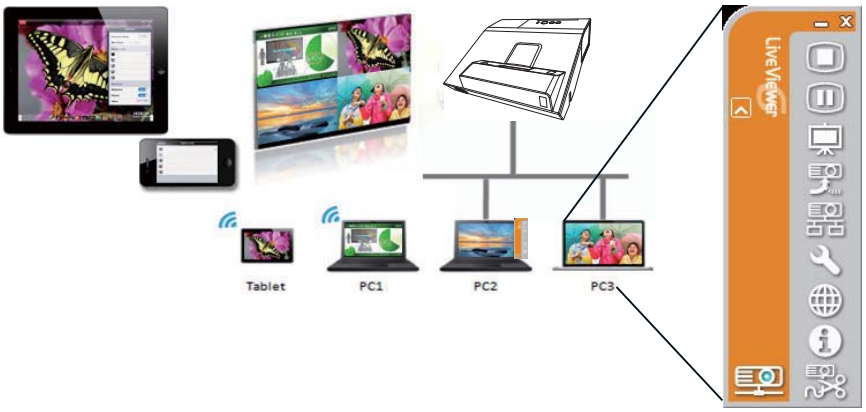


Crestron e-Control

ネットワークプレゼンテーション

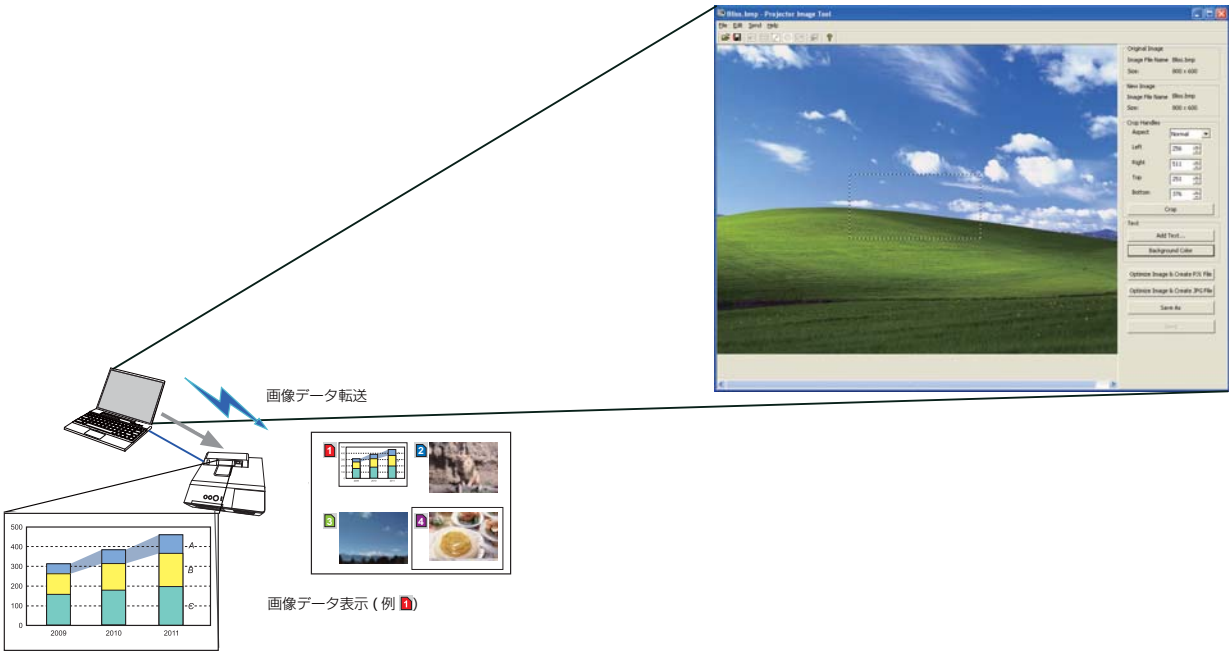
コンピュータの画面や音声をネットワーク経由で本機に転送し、表示または再生することができます。
ネットワークプレゼンテーション機能を使用するには、以下の専用アプリケーションが必要です。

OS	アプリケーション
Windows	LiveViewer
Mac OSX	LiveViewer
iOS(iPhone/iPad)	Projector Quick Connection



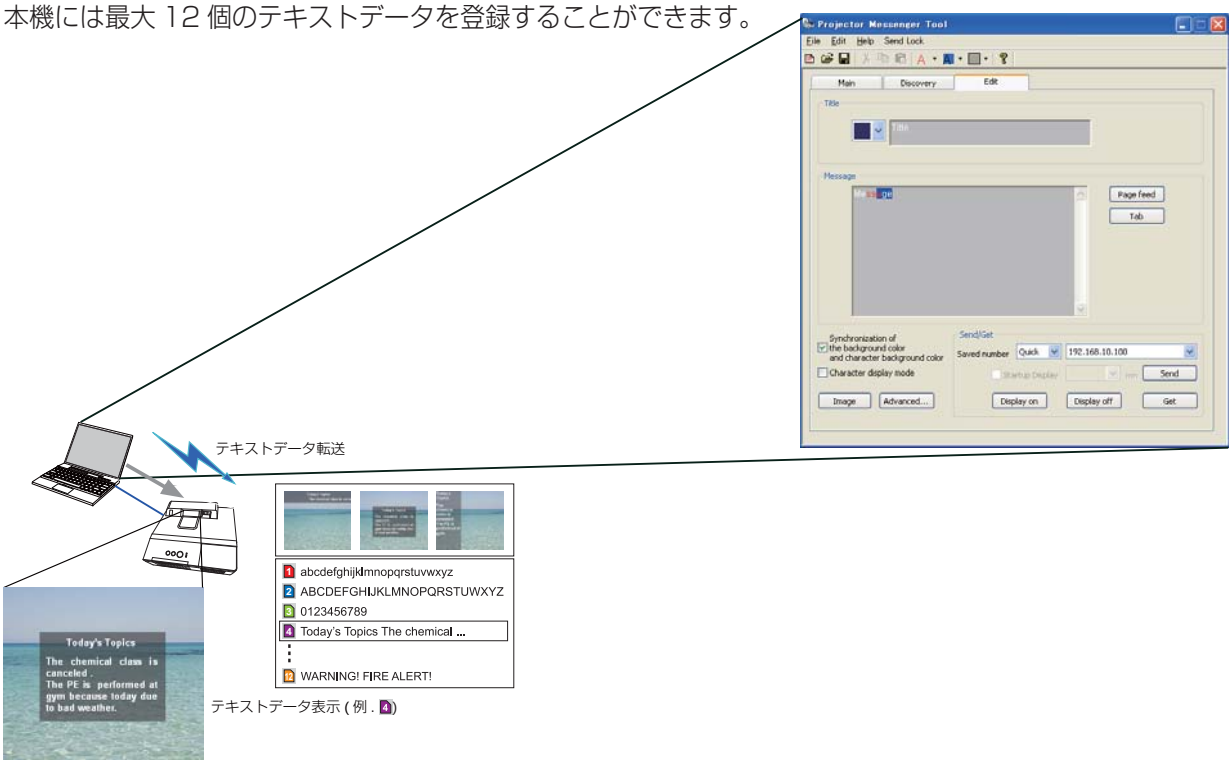
マイ イメージ

コンピュータからネットワーク経由で静止画像（マイ イメージ）を本機に転送し、表示することができます。
最大 4 つの画像データを本機に転送、登録することができます。
マイ イメージの転送には、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。



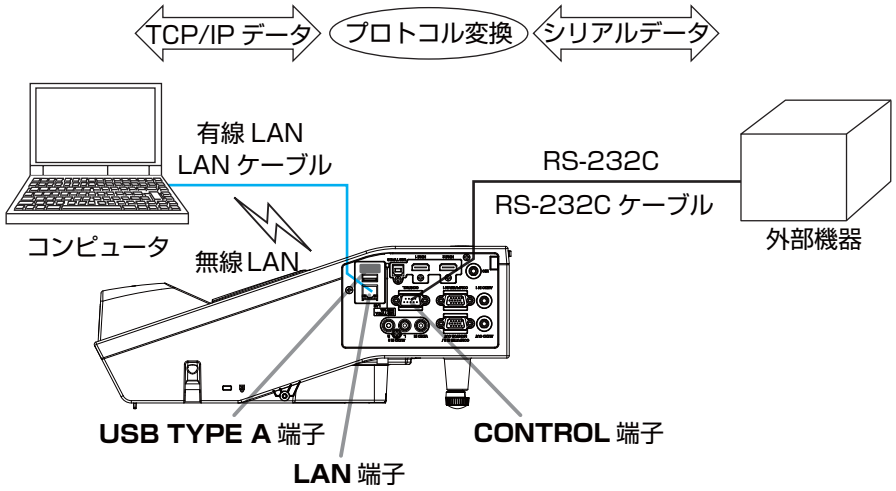
メッセンジャー

テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し、表示させることができます。また、音声データを本機内部で再生することができます。
本機には最大 12 個のテキストデータを登録することができます。



ネットワークブリッジ

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行うネットワークブリッジ機能に対応しています。
ネットワークブリッジ機能を使うと、本機と RS-232C 通信で接続した外部機器を、本機とネットワーク（有線 / 無線 LAN）で接続したコンピュータから、ネットワーク端末と同様に制御することができます。



その他の機能

電子メール機能による自動通知

本機にメンテナンスが必要な場合やエラーが発生したとき、指定したメールアドレスに自動的に警告メッセージを送信させることができます（📖3-68, 69）。

SNMP によるプロジェクター管理

SNMP (Simple Network Management Protocol) により、本機のエラー / 警告情報をネットワークに接続されたコンピュータから管理することができます。本機能を使用するには、SNMP マネージャがコンピュータにインストールされている必要があります（📖3-70, 71）。

スケジュール設定

スケジュール機能により電源オン / オフなどのイベントを設定することができ、本機の " 自己管理 " を可能にします。
スケジュールは、プロジェクター Web コントロールまたは本機の「その他」-「スケジュール」メニューで設定することができます（📖3-72 ～ 74）。

ネットワークからのコマンド制御

ネットワーク経由で RS-232C コマンドを使用し、本機を操作、設定することができます
（📖3-75 ～ 79）。

ネットワークへの接続

必要なシステム環境について

本機をネットワークに接続するには、以下のものが必要です。

■プロジェクター（本機）

■コンピュータ

■本機とコンピュータの接続機器

＜有線 LAN を使用する場合＞

LAN ケーブル（CAT-5e 以上）

※ 100Base-TX または 10Base-T に準拠した通信環境が必要です。

＜無線 LAN を使用する場合＞

本機側：IEEE802.11b/g/n 対応 USB ワイヤレスアダプター（別売品：USB-WL-11N）

コンピュータ（ネットワーク）側：IEEE802.11b/g/n 対応無線 LAN アダプター

※ INFRASTRUCTURE モードで使用する場合は、アクセスポイントもご用意ください。

ご使用できる暗号方式は以下の通りです。その他の暗号方式を使用している無線ネットワークには接続できません。

WPA2-PSK (AES) / WPA2-PSK (TKIP) / WPA-PSK (AES) / WPA-PSK (TKIP) / WEP 128bit / WEP 64bit

■ Web ブラウザ

Web コントロールをご利用になるには、コンピュータに Web ブラウザが必要です。

■ アプリケーション

ネットワークプレゼンテーション、マイ イメージ、メッセンジャーの機能をご利用になるには、コンピュータに専用のアプリケーションが必要です（🕮3-13, 14）。

Mac OS をご使用の方へ：Mac OS は一部のアプリケーションには対応しておりません。接続設定を行う前に、" アプリケーション動作環境 "（🕮3-13, 14）をご覧ください。

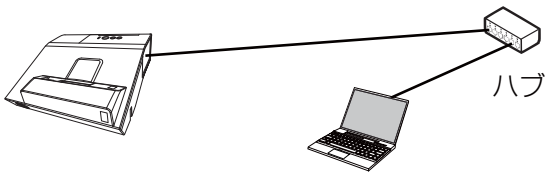
お知らせ

- コンピュータに無線 LAN 機能が搭載されていても、本機と、一部の無線 LAN モジュールやコンピュータとの間で正常に通信できない場合があります。通信問題の発生を防ぐために、Wi-Fi 認定の無線 LAN モジュール／アダプターをご使用ください。
- ネットワークをご使用になるには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。 誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。
- 「設置」メニューの「スタンバイモード」（🕮2-21）が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときにネットワーク機能は使用できません。ネットワークに接続する前に、「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。

ネットワーク接続手順

有線 LAN で接続する

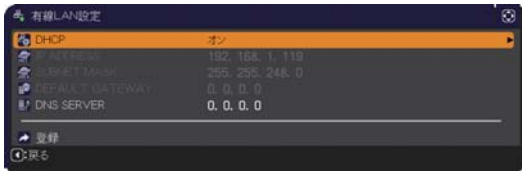
本機を既存のネットワークに接続する時は、ネットワーク管理者に確認の上、プロジェクターの有線 LAN の設定を行ってください。



有線 LAN の接続設定

1) LAN ケーブル（CAT-5e 以上）を使用し、ハブを介して本機とコンピュータを接続します。
2) リモコンまたは本機のコントロールパネルの **MENU** ボタンを押します。
前回使用した MENU が表示されます。
カーソルボタンで以下を選択してください。
簡単メニュー > 詳細メニュー > ネットワーク > 有線 LAN 設定

3)「有線 LAN 設定」で以下を設定してください。
・DHCP
・IP ADDRESS
・SUBNET MASK
・DEFAULT GATEWAY
・DNS SERVER



IP アドレスの設定に関しては、“IP アドレスについて”（🕮3-8）をご覧ください。

「登録」を選択し、**ENTER** ボタンを押して設定を反映してください。

[IPアドレスについて]

■手動設定
コンピュータに設定する IP アドレスのネットワーク部分、およびサブネットマスクは、本機と同じとなるようにしてください。ただし、コンピュータの IP アドレス全体が、本機を含む他のネットワーク機器と同じになるようには設定しないでください。

例）本機の有線 LAN 設定が次のようになっている場合。
IP アドレス : 192.168.1.254
サブネットマスク : 255.255.255.0
このときのネットワークアドレスは、IP アドレスの下線部分、「192.168.1」です。
従って、以下のようにコンピュータの IP アドレスを設定します。
IP アドレス : 192.168.1.xxx（xxx の部分は 10 進数）
サブネットマスク : 255.255.255.0

IP アドレスの“xxx”部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない 1 ～ 254 の数値（10 進数）を指定します。例の場合、プロジェクターの IP アドレスが 192.168.1.254 に設定されているので、コンピュータには 1 ～ 253 の間の数値を設定します。

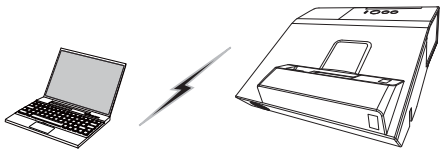
■自動設定
接続しているネットワーク内に DHCP サーバーが存在する場合は、コンピュータとプロジェクターに、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。DHCP サーバーが存在しない場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定してください。

お知らせ

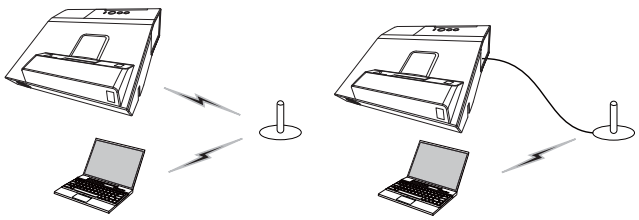
- 工場出荷時は有線 LAN の DHCP 設定が ON に設定されています。IP アドレスをネットワークから自動で取得しない場合は、有線ネットワークの DHCP 設定を OFF に設定し、ネットワーク管理者に確認のうえ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定してください。
- 無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。
- 本機とコンピュータを同じネットワークに接続する場合（ネットワークアドレスが同じ場合）は、デフォルトゲートウェイを設定する必要はありませんので、空白のままにしてください。
- 本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

無線 LAN で接続する

オプション品の USB ワイヤレスアダプター（USB-WL-11N）を接続すると、無線 LAN での接続ができます。
無線 LAN での接続には Ad Hoc 接続と Infrastructure 接続の 2 つがあります。



アクセスポイントを使用しない通信（Ad Hoc）



アクセスポイントを使用する通信（Infrastructure）

* Ad Hoc モードは、コンピュータと直接一対一で通信し、アクセスポイントを必要としない接続モードです。
* Infrastructure モードは、アクセスポイントを使用して通信する接続モードで、多数の機器を接続する場合に便利です。

お知らせ

●ネットワークの設定はプロジェクター Web コントロールの " ネットワーク設定 " からも変更することができます。
●本機の無線 LAN 設定は、工場出荷時、以下のようになっています。
モード : Ad Hoc
DHCP: オフ
IP アドレス : 192.168.10.254
サブネットマスク : 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0
SSID: wireless
暗号方式 : オフ
チャンネル : 1
●無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。

無線 LAN の接続設定

Ad Hoc で接続する

Ad Hoc でプロジェクターとコンピュータを接続する場合は、以下の設定を行います。

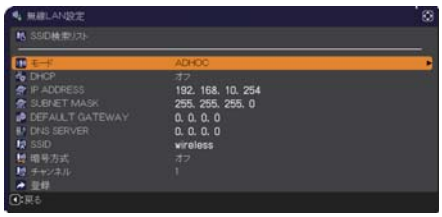
プロジェクターの設定

[USB ワイヤレスアダプターの脱着に関する制限事項]
本機で USB ワイヤレスアダプターを脱着する前に、本機の電源をオフにして、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。本機に電源が供給されているとき、本機に接続されている USB ワイヤレスアダプターに触れないでください。
本機に USB ワイヤレスアダプターを接続する場合、延長ケーブルまたは延長器を使用しないでください。

1) USB ワイヤレスアダプターをプロジェクターの **USB TYPE A** 端子に接続します。
2) プロジェクターの電源をオンにします。
3) リモコンまたは本機のコントロールパネルの
   MENU ボタンを押します。
   前回使用した MENU が表示されます。

   カーソルボタンで以下を選択してください。
   簡単メニュー > 詳細メニュー > ネットワーク >
   無線 LAN 設定

4)「無線 LAN 設定」で以下を設定してください。
- モード : ADHOC
- DHCP
- IP ADDRESS
- SUBNET MASK
- SSID
- 暗号方式
- チャンネル



IP アドレスの設定に関しては、“IP アドレスについて”（🕮3-8）をご覧ください。

「登録」を選択し、**ENTER** ボタンを押して設定を反映してください。

コンピュータの設定

1) プロジェクターに設定した IP アドレス、サブネットマスクに合わせて、コンピュータの IP アドレス、サブネットマスクを設定します。 プロジェクターとコンピュータが同じネットワークアドレスとなるように設定してください。
2) コンピュータの無線接続手順に従い、プロジェクターに設定した SSID を選択します。 暗号の設定をしている場合は、コンピュータの指示に従い、暗号キーを入力してください。

お知らせ

●コンピュータのネットワーク設定手順および無線接続手順については、コンピュータまたは無線 LAN デバイスのマニュアルをご参照ください。

Infrastructure で接続する

Infrastructure でプロジェクターをアクセスポイントへ接続する場合は、以下の設定を行います。

[USB ワイヤレスアダプターの脱着に関する制限事項]
本機で USB ワイヤレスアダプターを脱着する前に、本機の電源をオフにして、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。本機に電源が供給されているとき、本機に接続されている USB ワイヤレスアダプターに触れないでください。
本機に USB ワイヤレスアダプターを接続する場合、延長ケーブルまたは延長器を使用しないでください。

1) USB ワイヤレスアダプターをプロジェクターの **USB TYPE A** 端子に接続します。
2) プロジェクターの電源をオンにします。
3) リモコンまたは本機のコントロールパネルの
   MENU ボタンを押します。
   前回使用した MENU が表示されます。

   カーソルボタンで以下を選択してください。
   簡単メニュー > 詳細メニュー > ネットワーク >
   無線 LAN 設定

4)「無線 LAN 設定」で以下を設定してください。
- モード : INFRASTRUCTURE
- DHCP
- IP ADDRESS
- SUBNET MASK
- DEFAULT GATEWAY
- DNS SERVER
- SSID
- 暗号方式
- チャンネル

IP アドレスの設定に関しては、“IP アドレスについて”（🕮3-8）をご覧ください。

「登録」を選択し、**ENTER** ボタンを押して設定を反映してください。

SSID 検索リストから接続する

無線 LAN 設定で SSID および暗号方式を設定しなくても、SSID 検索リストから選択して接続を行うことができます。SSID 検索リストからの接続手順は以下の通りです。

1) ネットワークメニューの無線 LAN 設定で SSID 検索リストを選択します。無線ネットワークの SSID が一覧表示されます。
2) SSID 検索リスト画面で接続する無線ネットワークの SSID を選択します。暗号設定されている場合は、暗号キー入力画面が表示されますので、ソフトウェアキーボードを使用して、暗号キーを入力します。
3) 接続が完了すると、SSID 検索リスト画面に接続状態を示すアイコン ( ) が表示されます。

お知らせ

- アクセスポイントの設定によっては通信速度が遅くなる場合があります。
- 本機とコンピュータを同じネットワークに接続する場合（ネットワークアドレスが同じ場合）は、デフォルトゲートウェイを設定する必要はありませんので、空白のままにしてください。
- 本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 既存のネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従い、プロジェクターの無線 LAN 設定を行ってください。
- WEP 暗号化にはオープンシステム認証を使用しており、共有キー認証には対応しておりません。オープンシステム認証を使用するため、不正な暗号キーを入力した場合でもアクセスポイントとの認証は成功し、接続が正常に行われたと判断しますが、実際にはデータの送信は行えません。

アプリケーション

各種アプリケーションソフトの最新版は、下記のいずれかの Web サイトよりダウンロードできます。

http://www.hitachi-america.us/digitalmedia/
http://www.hitachidigitalmedia.com/
http://www.hitachi-dm.cn/
http://www.hitachi.co.jp/proj/

iOS 用のネットワークプレゼンテーションソフト Projector Quick Connection の詳細およびダウンロード先については、下記 URL をご参照ください。

http://www.hitachi.co.jp/Prod/vims/proj/en/index.html
http://www.hitachi.co.jp/Prod/vims/proj/jp/index.html

[アプリケーション動作環境]

アプリケーション名	動作環境
LiveViewer	[Windows] OS: Windows® XP Windows® Vista®（Service Pack 1 以降） Windows® 7 Windows® 8 グラフィックカード : VGA: 640x480 以上（推奨：XGA 1024x768） CPU: Pentium 4（2.8 GHz 以上） ハードディスク空き容量 : 100MB 以上

（次ページにつづく）

アプリケーション動作環境（つづき）

アプリケーション名	動作環境
LiveViewer	[Mac] Mac OSX 10.5 Mac OSX 10.6 Mac OSX 10.7 Mac OSX 10.8 ハードディスク空き容量 : 15MB 以上 **お知らせ** ● Intel 版のみ。Power Mac には対応していません。 ● Mac 版は、同梱されている CD-ROM には含まれておりません。 Web サイトからダウンロードしてください。
Projector Quick Connection	iOS 5.1.1 以降 iPad, iPad2, New iPad iPhone4/4S/5
Projector Image Tool (PJImg)	OS: Windows® XP Windows Vista® Windows® 7 Windows® 8 CPU: Pentium 3（500MHz 以上） ハードディスク空き容量 : 20MB 以上
Projector Messenger Tool (PJMessenger)	OS: Windows® XP Windows Vista® Windows® 7 Windows® 8 CPU: Pentium 3（500MHz 以上） ハードディスク空き容量 : 20MB 以上

ネットワークメニュー

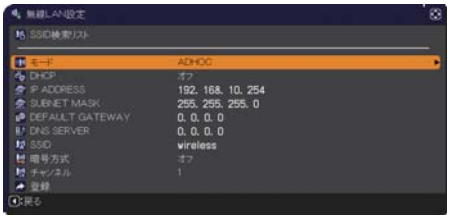
誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因になることがあります。本機をネットワーク内の既存のアクセスポイントに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。
「ネットワーク」メニューでは、ネットワーク機能に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。
下表およびメニュー表示に従って操作してください。

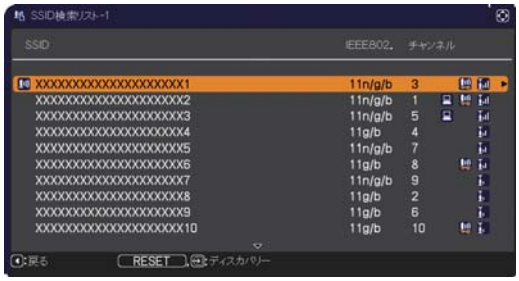
お知らせ

- ●本機の無線 LAN 機能を使用するには、別売品の USB ワイヤレスアダプターが必要です。本機に USB ワイヤレスアダプターを接続する場合に延長ケーブルを使用しないでください。
- ●本機は、無線 LAN と有線 LAN で同じネットワークに接続することはできません。
- ●無線 LAN と有線 LAN に同じネットワークアドレスを設定しないでください。
- ●ご利用のネットワークが SNTP に非対応の場合は、日時を設定する必要があります（🕮**3-42**）。
- ●「設置」メニューの「スタンバイモード」（🕮**2-21**）が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときネットワークの通信はできません。スタンバイモードを「通常」に設定してから本機をネットワークに接続してください。

項　目	説　明
プロジェクター名	プロジェクターに任意の名前を設定することで、ネットワーク上のプロジェクターを識別することができます。 (1)「プロジェクター名」を選択し、カーソルボタン▶を押します。「プロジェクター名」画面が表示されます。プロジェクター名を入力するためには、表示されているソフトウェアキーボードを使用します。 消去：一文字消去します。 全て消去：全部の文字を消去します。 取消：入力した文字を破棄してネットワークメニューにもどります。 OK：入力した文字を保存してネットワークメニューにもどります。 (2) 最初の３行に現在のプロジェクター名が表示されます。特定のプロジェクター名があらかじめ設定されています。 **ENTER** ボタンまたは⏎ボタンで各文字を選択し、入力してください。1 文字削除するには、**RESET** ボタンを押す、もしくはカーソルボタン◀と⏎ボタンを同時に押します。また、画面上の「消去」または「全消去」にカーソルを合わせて **ENTER** または⏎ボタンを押すと、1 文字または全ての文字を削除することができます。「プロジェクター名」は最大 64 文字まで入力できます。 (3) 既に入力された文字を変更するには、最初の 3 行のうちの 1 行にカーソルを移動し、変更したい文字にカーソルを移動します。**ENTER** または⏎ボタンを押すと、文字が選択されます。その後、上記 (2) と同じ手順に従ってください。 (4) プロジェクター名の入力・編集が終わったら、「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶か、**ENTER** ボタン（または⏎ボタン）を押してください。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀か、**ENTER** ボタン（または⏎ボタン）を押してください。

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">説　明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">無線 LAN
設定</td><td colspan="2">無線ネットワークの設定を行います。
設定変更後は、登録を実行してください。
登録を実行しないと、入力した設定値が
反映されません。
 

お知らせ
●登録を実行する前にメニューが消えると、入力した設定値は反映されません。</td></tr>
<tr><td>SSID 検索
リスト</td><td>利用できる無線ネットワークの検索を行って SSID の一覧を表示します。
一覧から SSID を選択して接続することができます。
(1) SSID 検索リストを選択して右ボタンを押すと、利用できる無線ネットワークの SSID が一覧表示されます。
 

お知らせ
●プロジェクターで対応していない暗号方式が使用されている無線ネットワークは検索リストに表示されません。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td>無線 LAN 設定
（つづき）</td><td>SSID 検索リスト
（つづき）</td><td>
<table>
<tr><th>アイコン</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td> </td><td>無線ネットワークと接続していることを示します。</td></tr>
<tr><td> </td><td>暗号化設定されている無線ネットワークであることを示します。</td></tr>
<tr><td> </td><td>電波強度を示します。</td></tr>
<tr><td> </td><td>Ad Hoc に設定された機器を示します。</td></tr>
</table>
(2) 接続したい SSID を選択し、カーソルボタン▶か ENTER ボタンを押します。暗号設定されている場合、暗号キー入力画面が表示されます。ソフトウェアキーボードを使用して、文字を入力してください。
入力が終わりましたら、OK にカーソルを合わせて、カーソルボタン▶もしくは ENTER もしくは ボタンを押してください。

お知らせ
● [文字を非表示にする] のチェックボックスをオンにすると、文字が非表示になります。
</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

項　目	説　明
無線 LAN 設定（つづき）	SSID 検索リスト（つづき）

(3) 接続処理中は以下の OSD が表示されます。

接続中…

接続処理中は、**Reset** ボタン以外のキー操作を行うことができません。
Reset ボタンを押すと接続処理を中断します。
接続処理が完了すると以下の OSD が表示されます。

接続成功 ：接続成功

正しく接続できなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。

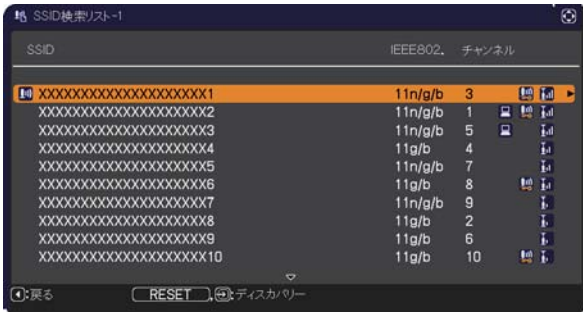
接続失敗 ：接続失敗

ENCRYPTION ロック ：暗号ロックが有効

お知らせ

- プロジェクター Web コントロール画面のネットワーク設定 – 無線 LAN 設定で暗号ロックの設定が有効のときは、暗号の設定を変更することができません。暗号ロックの詳細は、Web コントロールのネットワーク設定 – 無線 LAN 設定の項をご参照ください（📖3-32）。
- WEP 暗号化にはオープンシステム認証を使用しており、共有キー認証には対応しておりません。オープンシステム認証を使用するため、不正な暗号キーを入力した場合でもアクセスポイントとの認証は成功し、接続が正常に行われたと判断しますが、実際にはデータの送信は行えません。

(4) 接続が完了すると、SSID 検索リストに接続状態を示すアイコン（ ）が表示されます。



（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">説　明</th></tr>
<tr><td rowspan="6">無線 LAN
設定
（つづき）</td><td>モード</td><td>ADHOC と INFRASTRUCTURE の切り替えを行います。
ご利用のコンピュータに合わせてネットワーク通信方式を選択してください。
ADHOC ⇔ INFRASTRUCTURE
設定を保存するには、カーソルボタン ► を押してください。
お知らせ
●「ADHOC」を選択すると、IEEE802.11n は使用できなくなります。
●「暗号方式」（🕮3-21）に WPA-PSK、または WPA2-PSK を設定しているときに、本設定を「ADHOC」に設定すると、「暗号方式」は自動的に「オフ」に変更されます。</td></tr>
<tr><td>DHCP</td><td>IP アドレスを自動で取得するかどうかの設定を行います。
カーソルボタン ▲ / ▼ で、DHCP のオン / オフを選択してください。
オン ⇔ オフ</td></tr>
<tr><td>IP
ADDRESS</td><td>DHCP が無効の場合、IP アドレスを設定します。
IP アドレスを入力してください。
この項目は「DHCP」（🕮 上記）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</td></tr>
<tr><td>SUBNET
MASK</td><td>DHCP が無効の場合、サブネットマスクを設定します。
サブネットマスクを入力してください。
この項目は「DHCP」（🕮 上記）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</td></tr>
<tr><td>DEFAULT
GATEWAY</td><td>DHCP が無効の場合、デフォルトゲートウェイを設定します。
デフォルトゲートウェイのアドレスを入力してください。
この項目は「DHCP」（🕮 上記）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</td></tr>
<tr><td>DNS
SERVER</td><td>DNS サーバーのアドレスを設定します。
DNS サーバーのアドレスを入力してください。
お知らせ
●本設定を自動で取得することはできません。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">説　明</th></tr>
<tr><td rowspan="3">無線 LAN
設定
（つづき）</td><td>SSID</td><td>SSID の設定を行います。

「デフォルト」（#1 ～ #4）を選択して、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。

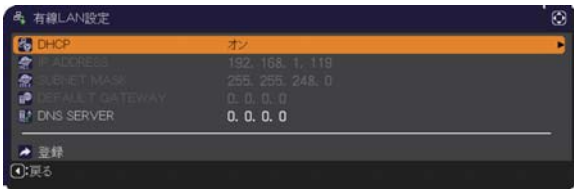
[カスタムの設定]
「カスタム」（#5）を選択する場合、カーソルボタン ► または ENTER ボタンを押してください。「カスタム」メニューが表示されます。
ソフトウェアキーボードを使用して SSID を入力します。ソフトウェアキーボードの使い方は、「プロジェクター名」（🕮3-16）の項目をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>暗号方式</td><td>使用する暗号方式を選択してください。
WPA2-PSK(AES) ⇔ WPA2-PSK(TKIP)
⇳ ⇳
オフ WPA-PSK(AES)
⇳ ⇳
WEP 64bit⇔WEP 128bit⇔WPA-PSK(TKIP)

オフ以外を選択した場合は、暗号キーを入力し、カーソルボタン ► を押す必要があります。

お知らせ
● Ad Hoc が設定されている時は、WEP64bit, WEP128bit しか選択できません。
● IEEE802.11n の暗号化方式は WPA2-PSK (AES) が推奨されています。 他の暗号化を設定している場合 (WEP, WPA-PSK (TKIP), WPA2-PSK (TKIP))、IEEE802.11n の通信速度が遅くなる場合があります。「AES」以外の暗号化を設定している場合は、「AES」に設定を変更することをおすすめします。
●選択項目にない暗号方式は使用することができません。</td></tr>
<tr><td>チャンネル</td><td>「モード」（🕮3-20）が ADHOC に設定されている場合、使用する無線 LAN のチャンネルを選択してください。
ご使用のコンピュータの設定に従って選択してください。
1 ～ 11 のチャンネルを選択できます。設定を保存するには、カーソルボタン ► を押してください。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

ネットワークメニュー（つづき）

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">説　明</th></tr>
<tr><td rowspan="6">有線 LAN
設定</td><td colspan="2">有線ネットワークの設定を行います。
設定変更後は登録を実行してください。
登録を実行しないと入力した設定値が
反映されません。
 

お知らせ
●登録を実行する前にメニューが消えると、入力した設定値は反映されません。</td></tr>
<tr><td>DHCP</td><td>IP アドレスを自動で取得するかどうかの設定を行います。
カーソルボタン ▲ / ▼ で、DHCP のオン / オフを選択してください。
オン ⇔ オフ</td></tr>
<tr><td>IP
ADDRESS</td><td>DHCP が無効の場合、IP アドレスを設定します。
IP アドレスを入力してください。
この項目は「DHCP」（🕮 上記）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</td></tr>
<tr><td>SUBNET
MASK</td><td>DHCP が無効の場合、サブネットマスクを設定します。
サブネットマスクを入力してください。
この項目は「DHCP」（🕮 上記）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</td></tr>
<tr><td>DEFAULT
GATEWAY</td><td>DHCP が無効の場合、デフォルトゲートウェイを設定します。
デフォルトゲートウェイのアドレスを入力してください。
この項目は「DHCP」（🕮 上記）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</td></tr>
<tr><td>DNS
SERVER</td><td>DNS サーバーのアドレスを設定します。
DNS サーバーのアドレスを入力してください。
お知らせ
●本設定を自動で取得することはできません。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">説　明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ネットワーク
インフォメーション</td><td colspan="2">無線 LAN および有線 LAN の設定を表示します。カーソルボタン ▲ / ▼でページを切り替えてください。
最初のページは本機の無線 LAN の設定を表示します。2 ページ目は有線 LAN、3 ページ目は共通の設定項目のページです。</td></tr>
<tr><td>無線 LAN
インフォ
メーション</td><td>以下の情報が表示されます。
・パスコード
・IP ADDRESS
・SUBNET MASK
・DEFAULT GATEWAY
・DNS SERVER
・MAC ADDRESS
・モード
・SSID
・暗号方式
・チャンネル
・通信速度

パスコードは、ネットワークプレゼンテーションを行う際に使用する、プロジェクターとコンピュータの接続をサポートするものです。詳細はネットワークプレゼンテーションの項目 をご参照ください（📖3-58 ～ 60）。

お知らせ
● 「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「DEFAULT GATEWAY」は、以下の場合、それぞれ“0.0.0.0”と表示されます。
(1) USB ワイヤレスアダプターが接続されていない場合。
(2) 「DHCP」（📖3-20）を「オン」に設定しているのに、本機が DHCP サーバーからアドレスを取得できていない場合。
● USB ワイヤレスアダプターが接続されていないと、「チャンネル」と「通信速度」には何も表示されません。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">説　明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ネットワーク
インフォメーション
（つづき）</td><td>有線 LAN
インフォ
メーション</td><td>以下の情報が表示されます。
・パスコード
・IP ADDRESS
・SUBNET MASK
・DEFAULT GATEWAY
・DNS SERVER
・MAC ADDRESS
パスコードは、ネットワークプレゼンテーションを行う際に使用すると、プロジェクターとパソコンのネットワーク接続が簡単になります。詳細はネットワークプレゼンテーションの項目をご参照ください（🕮3-58 ～ 60）。
お知らせ
●「DHCP」（🕮3-22）を「オン」に設定しているのに、本機が DHCP サーバーからアドレスを取得できていない場合、「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「DEFAULT GATEWAY」は、以下の場合、それぞれ“0.0.0.0”と表示されます。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>以下の情報が表示されます。
・プロジェクター名
・日付と時刻の設定
・SNTP SERVER
・時差
プロジェクター名と SNTP SERVER は、設定している文字数が多い場合、省略されて表示されることがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SNTP
セットアップ</td><td>SNTP
SERVER</td><td>ネットワーク経由で時刻を取得する場合、SNTP サーバーを IP アドレスかドメイン名で指定します。ドメイン名は255文字まで入力可能です。
入力はソフトウェアキーボードを用いて行います。ソフトウェアキーボードの使い方は、プロジェクター名（🕮3-16）の項目をご参照ください。
お知らせ
● SNTP を使用する場合は、時差の設定も行ってください。</td></tr>
<tr><td>時差</td><td>時差の設定を行います。
ご利用のコンピュータと同じ時差を設定してください。コンピュータの設定が不明な場合はネットワーク管理者にお尋ねください。
設定後にカーソルボタン ▶ でメニューに戻ります。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

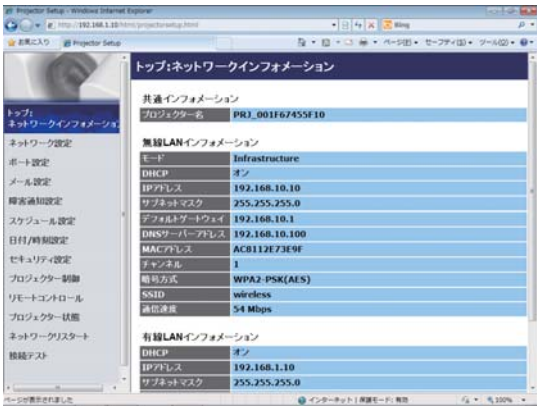
項　目	説　明
マイ イメージ	マイ イメージメニューを表示します。 画像データの転送には、日立のホームページからダウンロードしたアプリケーションを使用してください。 マイ イメージについての詳細は、 マイ イメージ（🕮3-61）をご参照ください。 表示したい画像データを選択し、カーソルボタン ► または **ENTER** ボタンを押すと、画像を表示できます。 • 静止画像が登録されていない項目は選択できません。 • 表示できる画像ファイル名は半角で 16 文字以内です。 マイ イメージの切り替え カーソルボタン▲ / ▼を使用してください。 メニューに戻る リモコンのカーソルボタン ◄ を押してください。 マイ イメージの削除 (1) 画像表示中に **RESET** ボタンを押すと、マイ イメージ消去確認ダイアログが表示されます。 (2) カーソルボタン ► を押すと、削除できます。 削除したくない場合は、カーソルボタン ◄ を押してください。
AMX D.D. (AMX Device Discovery)	カーソルボタン▲ / ▼で、AMX デバイスディスカバリーのオン / オフを切り替えます。 オン ⇔ オフ オンに設定すると、同じネットワークに接続した AMX コントローラで本機を検出することができるようになります。AMX デバイスディスカバリーについての詳細は、以下の AMX ホームページをご覧ください。 URL: http://www.amx.com/

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">説　明</th></tr>
<tr><td rowspan="4">プレゼンテーション</td><td colspan="2">ネットワークプレゼンテーションを使用するには、同梱の CD から専用アプリケーションをインストールする必要があります。日立のホームページからも最新版のアプリケーションおよび関連情報をご利用できます。
ネットワークプレゼンテーションについての詳細は、ネットワークプレゼンテーション（🕮3-58 ～ 60）をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>プレゼンターモード解除</td><td>本機をプレゼンターモードで使用しているコンピュータがある場合、他のコンピュータから本機へのアクセスはブロックされます。
本機能を使用すると、プレゼンターモードを解除し、他のコンピュータからアクセスできるようにします。
本項目を選択するとダイアログが表示されます。
カーソルボタン ▶ で「OK」を選択すると、プレゼンターモードを解除し、メッセージを表示します。</td></tr>
<tr><td>マルチ PC モード</td><td>1 台以上のコンピュータをマルチ PC モードに設定し、本機に画像を送信する場合、以下の 2 通りの表示モードを選択することができます。
- シングル PC モード : 選択したコンピュータからの映像をフルスクリーンで表示します。
- マルチ PC モード : 最大 4 台のコンピュータからの映像を、4 分割した画面に表示します。
本項目を選択するとダイアログが表示されます。
以下の説明に従い、ダイアログで表示モードを切り替えてください。
• マルチ PC モードからシングル PC モードに切り替えるには、カーソルボタン▲ / ▼ /◀/▶ で 1 台のコンピュータを選択し、ENTER ボタンまたは ボタンを押します。
カーソルボタン ▶ で「OK」を選択し、再度 ENTER ボタンまたは ボタンを押します。選択されたコンピュータの映像がフルスクリーンで表示されます。
• シングル PC モードからマルチ PC モードに切り替えるには、カーソルボタン ▶ で「OK」を選択し、ENTER ボタンまたは ボタンを押します。
表示モードが切り替わります。
• 表示モードをシングル PC モードに変更すると、選択されたコンピュータでのプレゼンターモード設定が有効になります。また、表示モードがマルチ PC モードに変更されると、コンピュータでの設定にかかわりなくプレゼンターモード設定は無効になります。
</td></tr>
<tr><td>ユーザー名表示</td><td>本項目を選択するとユーザー名を表示します。 この機能により、現在の画像がどのコンピュータのものか判別できます。</td></tr>
</table>

Web コントロール

同じネットワークに接続したコンピュータから、
Web ブラウザを使用して本機の設定または制御を
行うことができます。



■プロジェクター Web コントロール
プロジェクター Web コントロール画面では、
プロジェクターの制御、ランプ時間などの状態取得、
E メール、スケジュールなどの設定を行うことが
できます。

推奨ブラウザ
・Internet Explorer® 6/ 7/ 8/ 9/ 10

ネットワーク編

お知らせ

- ●推奨ブラウザ以外の Web ブラウザをご使用の場合、正しく動作しないことがあります。
- ● Internet Explorer® 6.0 以降のバージョンが必要です。
- ● Web ブラウザの設定で、JavaScript® を有効にしてください。JavaScript® が無効になっていると、Web コントロールの画面が正しく表示されないことがあります。JavaScript® を有効にする方法については、Web ブラウザのヘルプをご覧ください。
- ● Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用してください。
- ●無線 LAN と有線 LAN から同時にデータが送信された場合、本機でデータを正常に処理できない場合があります。

■ Crestron e-Control®
Crestron e-Control® は、Crestron 社の提供する
Web ブラウザを使用した制御インタフェースです。
Crestron e-Control® を使用して、プロジェクターの
制御、監視を行うことができます。

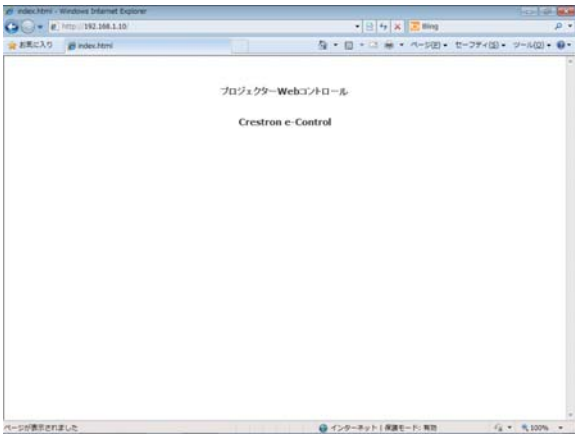
お知らせ

- ● Crestron e-Control® は、Flash® を使用して作成されています。Crestron e-Control® を使用するには、ご使用のコンピュータに Adobe® Flash® Player をインストールしてください。Flash® に対応していないブラウザでは表示されません。
- ●プロジェクター Web コントロールで "Crestron e-Control"（🕮3-33）の設定が無効に設定されていると、次ページの図のような選択画面は表示されず、プロジェクター Web コントロールのログイン画面が表示されます。

（次ページにつづく）

Web コントロール（つづき）

コンピュータとプロジェクターがネットワークで接続されていることを確認し、Web ブラウザを起動してください。
以下の例のように、プロジェクターの IP アドレスを Web ブラウザの URL バーに入力し、**ENTER** キーを押すか、あるいは → をクリックしてください。



例）本機の IP アドレスが "192.168.1.10" の場合
Web ブラウザの URL 入力ボックスに
http://192.168.1.10/
を入力し、**ENTER** キーを押すか、あるいは → をクリックしてください。

正しい URL が入力され、本機とコンピュータが同じネットワークに接続されている場合、選択画面が表示されます。

お知らせ

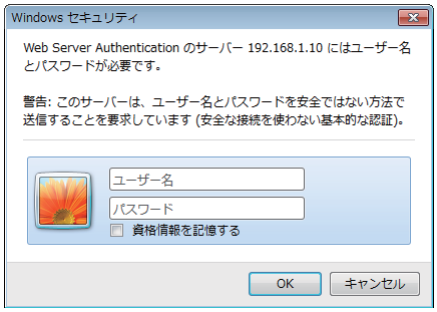
- 本機のメニュー、リモコンと、Web コントロールは同時に使用しないでください。同時に使用すると誤動作するおそれがあります。
- プロジェクター Web コントロールは、本機に設定された OSD の表示言語と同じ言語で表示されます。プロジェクター Web コントロール画面の表示言語を変更するには、本機の「簡単メニュー」（📖**2-6**）または「スクリーン」メニューの「表示言語」（📖**2-23**）を変更するか、Web コントロールの［プロジェクター制御］で、［表示言語］（📖**3-47**）を変更してください。

プロジェクター Web コントロール

ログイン

プロジェクター Web コントロールを使用するには、このログイン画面でユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

工場出荷時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。



ログイン画面

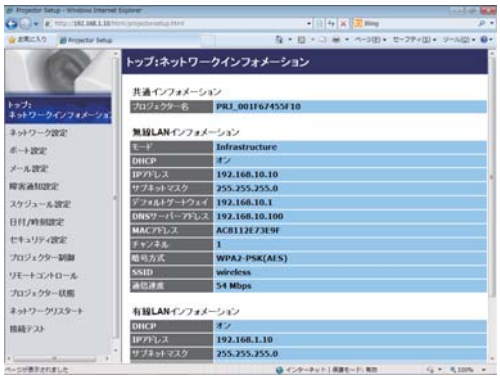
ユーザー名	Administrator
パスワード	（設定されていません）

ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。
ログインが成功すると、下図の画面が表示されます。

メインメニュー

画面左側のメインメニューから設定・操作したいメニュー項目を選んでクリックしてください。

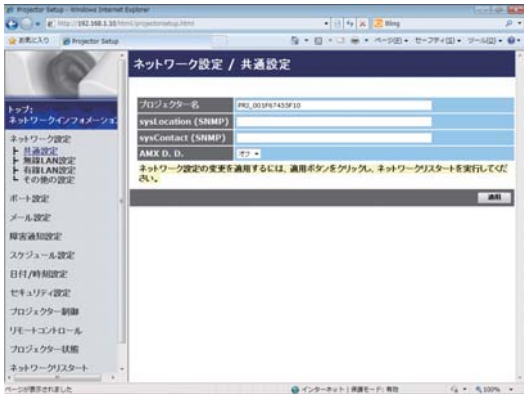
ネットワークインフォメーション



本機のネットワーク設定を表示します。

項　目	説　明
共通インフォメーション	無線 LAN と有線 LAN で共通の情報を表示します。
プロジェクター名	本機に登録されたプロジェクター名です。
無線 LAN インフォメーション	本機の無線 LAN に関する設定を表示します。
モード	本機の無線接続モードを表示します。
DHCP	本機の DHCP 設定です。
IP アドレス	本機の IP アドレスです。
サブネットマスク	本機のサブネットマスクです。
デフォルトゲートウェイ	本機のデフォルトゲートウェイです。
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスです。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスです。
チャンネル	無線 LAN で使用しているチャンネルです。
暗号方式	本機の暗号方式設定です。
SSID	本機の使用している SSID です。
通信速度	無線 LAN 通信速度を表示します。
有線 LAN インフォメーション	本機の有線 LAN に関する設定を表示します。
DHCP	本機の DHCP 設定です。
IP アドレス	本機の IP アドレスです。
サブネットマスク	本機のサブネットマスクです。
デフォルトゲートウェイ	本機のデフォルトゲートウェイです。
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスです。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスです。

ネットワーク設定



ネットワーク設定の表示および設定を行います。

項　目		説　明
共通設定		無線 LAN と有線 LAN で共通の機能の設定を行います。
	プロジェクター名	プロジェクター名を設定します。 最大 64 文字まで設定できます。使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。 !"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[\]^_`{|}~ 特定のプロジェクター名があらかじめ設定されています。
	sysLocation (SNMP)	SNMP 使用時に参照する設置場所情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。英数字 "0 ～ 9"、"a - z" および "A - Z" のみ使用できます。
	sysContact (SNMP)	SNMP 使用時に参照する連絡先情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。英数字 "0 ～ 9"、"a - z" および "A - Z" のみ使用できます。
	AMX D.D. (AMX Device Discovery)	AMX デバイスディスカバリーの設定を行います。この項目をオンに設定すると、同じネットワークに接続した AMX コントローラで、本機を検出することができるようになります。AMX デバイスディスカバリーについての詳細は、以下の AMX ホームページをご覧ください。 URL: http://www.amx.com

（次ページにつづく）

項　目	説　明
無線 LAN 設定	本機の無線 LAN 設定を行います。
モード	"Ad Hoc" もしくは "Infrastructure"を選択します。
IP 設定	ネットワーク設定を行います。
DHCP オン	DHCP を有効にします。
DHCP オフ	DHCP を無効にします。
IP アドレス	DHCP を無効にしたときの、本機の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	DHCP を無効にしたときの、本機のサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	DHCP を無効にしたときの、本機のデフォルトゲートウェイを設定します。
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスを設定します。
チャンネル	Ad Hoc モードで使用するチャンネルを、1 ～ 11 の間で選択します。 **お知らせ** ●日本国内で使用できるチャンネルは 1 ～ 11 です。また、規格によってはご利用のコンピュータに、別途ワイヤレスネットワークカードが必要になる場合があります。
暗号ロック	無線接続に関連する以下の項目について、設定変更を許可または禁止するための機能です。 ・モード ・暗号方式 ・暗号キー（WEP キー、WPA パスフレーズ） ・SSID 暗号ロックをオンに設定した場合、プロジェクター本体のメニューでこれらの設定は変更できません。 **お知らせ** ●暗号ロックがオンの時は、現在の設定を変更せずに接続できる時に限り、無線接続が行われます。
暗号方式	暗号方式を選択します。

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th colspan="4">項　目</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td colspan="4">無線 LAN 設定（つづき）</td><td>本機の無線 LAN 設定を行います。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">WEP キー</td><td>WEP キーを設定します。
WEP キーには、ASCII 文字、または 16 進数を使用できます。ただし、ASCII 文字と 16 進数を組み合わせて使用することはできません。選択した暗号方式または使用する文字方式によって下表のように設定できる文字の長さが異なります。
<table>
<tr><th>暗号方式</th><th>ASCII 文字</th><th>16 進数</th></tr>
<tr><td>WEP 64bit</td><td>5 文字</td><td>10 文字</td></tr>
<tr><td>WEP 128bit</td><td>13 文字</td><td>26 文字</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">WPA パスフレーズ</td><td>WPA パスフレーズを設定します。
8 文字以上、63 文字以下の間で設定することができます。英数字、スペース、および以下の記号のみ使用できます。全て半角で入力してください。
!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@ [\]^_`{|}~</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">SSID</td><td>リストより SSID を選択します。
リストに無い SSID を設定する場合は“カスタム”を選択し、以下の規則に従って設定してください。
SSID は最大 32 文字まで設定できます。
英数字、スペース、および以下の記号のみ使用できます。全て半角で入力してください。
!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[\]^_`{|}~</td></tr>
<tr><td colspan="4">有線 LAN 設定</td><td>本機の有線 LAN 設定を行います。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">IP 設定</td><td>ネットワーク設定を行います。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">DHCP オン</td><td>DHCP を有効にします。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">DHCP オフ</td><td>DHCP を無効にします。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>IP アドレス</td><td>DHCP を無効にしたときの、本機の IP アドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>サブネットマスク</td><td>DHCP を無効にしたときの、本機のサブネットマスクを設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>デフォルトゲートウェイ</td><td>DHCP を無効にしたときの、本機のデフォルトゲートウェイを設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">DNS サーバーアドレス</td><td>DNS サーバーのアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="4">その他の設定</td><td>その他の設定を行います。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">Crestron e-Control</td><td>Crestron e-Control® の有効 / 無効を設定します。
無効を選択すると、Web コントロールの最初に選択画面が表示されず、プロジェクター Web コントロールのログイン画面が表示されます。</td></tr>
</table>

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 新しい設定はネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（🕮3-49）。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。
- WEP キー、WPA パスフレーズおよび SSID に無効な文字を使用した場合は、設定できません。
- 本機は、無線 LAN と有線 LAN で同じネットワークに接続することはできません。無線 LAN と有線 LAN に同じネットワークアドレスを設定しないでください。

ポート設定

通信ポートの表示および設定を行います。

項　目		説　明
ネットワーク制御ポート 1（ポート :23）		ネットワーク制御ポート 1（ポート :23）を設定します。
	ポートオープン	ポート :23 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
	認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
ネットワーク制御ポート 2（ポート :9715）		ネットワーク制御ポート 2（ポート :9715）を設定します。
	ポートオープン	ポート :9715 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
	認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
PJLink ™ ポート（ポート :4352）		PJLink ™ ポート（ポート :4352）を設定します。
	ポートオープン	ポート :4352 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
	認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
マイ イメージポート（ポート :9716）		マイ イメージポート（ポート :9716）を設定します。
	ポートオープン	ポート :9716 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
	認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
メッセンジャーポート（ポート :9719）		メッセンジャーポート（ポート :9719）を設定します。
	ポートオープン	ポート :9719 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
	認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。

（次ページにつづく）

項　目		説　明
SNMP ポート		SNMP ポートを設定します。
	ポートオープン	SNMP を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
	トラップアドレス	SNMP トラップ宛先の IP アドレスを設定します。 " ネットワーク設定 " で DNS サーバーのアドレスを設定した場合は、IP アドレスだけでなくドメイン名もお使いいただけます。ホストまたはドメイン名は半角英数字で 255 文字まで入力できます。
	MIB ファイルのダウンロード	MIB ファイルを本機からダウンロードします。
ネットワークブリッジポート		ネットワークブリッジポートを設定します。
	ポート番号	ネットワークブリッジポートの番号を設定します。 1024 ～ 65535 のうち、4352、5500、5900、9715、9716、9719、9720、41794 以外の番号を設定してください。 初期設定では 9717 が設定されています。

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

●新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（🕮3-49）。

メール設定

電子メール機能の表示および設定を行います。

項　目	説　明
メール送信	電子メール機能を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。電子メールの送信条件については、" 障害通知設定 " で設定してください。
SMTP サーバーアドレス	メールサーバーの IP アドレスを設定します。 " ネットワーク設定 " で DNS サーバーのアドレスを設定した場合は、IP アドレスだけでなくドメイン名もお使いいただけます。ホストまたはドメイン名は半角英数字で 255 文字まで入力できます。
送信者 E-mail アドレス	送信者の電子メールアドレスを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
受信者 E-mail アドレス	受信者（最大 5 名）の電子メールアドレスを設定します。各アドレスの [to] または [cc] を指定することもできます。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
Send Test Mail	設定した宛先にテストメールを送信します。

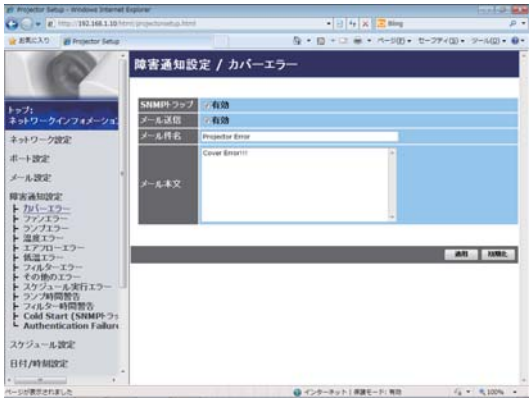
設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

[初期化] ボタンをクリックすると、メール設定を初期化します。

お知らせ

- メール設定が正しく機能するかどうかは、[テストメール送信] ボタンをクリックして確認できます。[テストメール送信] ボタンをクリックする前に、" メール送信 " の [有効] チェックボックスをオンにしてください。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。

障害通知設定



エラー / 警告通知の表示および設定を行います。

以下のエラー / 警告について、E メールや SNMP トラップなどの通知設定を行うことができます。

- カバーエラー
- ファンエラー
- ランプエラー
- 温度エラー
- エアフローエラー
- 低温エラー
- フィルターエラー
- その他のエラー
- スケジュール実行エラー
- ランプ時間警告
- フィルター時間警告
- Cold Start
- Authentication Failure

各エラー／警告の詳細については、「電子メール機能による自動通知」をご参照ください（🕮3-68, 69）。

プロジェクター Web コントロール（つづき）

障害通知に関する設定項目は以下です。

項　目	説　明
警告時間	警告を通知する時間を設定します。 この項目は、" ランプ時間警告 " と " フィルター時間警告 " にのみ表示されます。
SNMP トラップ	SNMP トラップによる自動通知を有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。
メール送信	電子メール機能による自動通知を有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。 この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" には表示されません。
メール件名	送信する電子メールの件名を設定します。 半角で 100 文字まで設定できます。全角などの文字を使用する場合、設定できる文字数が 100 文字より少なくなります。 この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" には表示されません。
メール本文	送信する電子メールの本文を設定します。 半角で 1024 文字まで設定できます。 全角などの文字を使用する場合、設定できる文字数が 1024 文字より少なくなります。 この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" には表示されません。

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。
[初期化] ボタンをクリックすると、設定を初期化します。

スケジュール設定

スケジュール機能の表示および設定を行います。

お知らせ

- スケジュール設定を有効にする前に、必ず日付 / 時刻を設定してください（🕮3-42）。
- スケジュール機能に関する詳細は、「スケジュール機能」（🕮3-72 ～ 74）をご参照ください。

1) スケジュール管理

項　目	説　明
日曜日	各曜日に実行するスケジュールの設定です。
月曜日	
火曜日	
水曜日	
木曜日	
金曜日	
土曜日	
特定日 1	指定した特定の日に実行するスケジュールの設定です。 最大 5 つまで特定日を指定できます。
特定日 2	
特定日 3	
特定日 4	
特定日 5	
スケジュール	実行するスケジュールのチェックボックスをオンにします。
プログラム	使用するプログラムを選択します。各プログラムに登録されているイベントの詳細を、画面下側に表示されているプログラムリストで確認することができます。
日付（月 / 日）	特定日 1 ～ 5 は、スケジュールを実行する日付（月／日）を入力します。

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。
[更新] ボタンをクリックすると、画面を最新の状態に更新します。
[プログラム編集] ボタンをクリックすると、選択しているプログラムの編集画面を表示します。
[コピー] ボタンをクリックすると、コピー元（左側のリスト）のプログラムの内容を、コピー先（右側のリスト）のプログラムにコピーします。コピー元とコピー先に同じ番号のプログラムを選択することはできません。

2) プログラム編集

設定されたイベントが表示されます。新たなイベントを追加する場合は、以下の項目を設定してください。

お知らせ

●スケジュールのプログラムは最大 16 通りまで作成することができます。また、1 つのプログラムに対して最大 20 個のイベントを登録することができます。

項　目		説　明
時刻		イベントを実行する時刻を設定します。
イベント [パラメータ]		実行するイベントを設定します。
電源		電源制御に関するパラメータを設定します。
	スタンバイ	
	オン	
入力ソース		入力切り替えに関するパラメータを設定します。
	COMPUTER IN1	
	COMPUTER IN2	
	LAN	
	USB TYPE A	
	USB TYPE B	
	HDMI 1	
	HDMI 2	
	VIDEO	
マイ イメージ		マイ イメージのデータ表示に関するパラメータを設定します。
	表示オフ	
	画像 -1	
	画像 -2	
	画像 -3	
	画像 -4	

（次ページにつづく）

項　目	説　明
メッセンジャー	メッセンジャーのデータ表示に関するパラメータを設定します。
表示オフ	
テキスト -1	
テキスト -2	
テキスト -3	
テキスト -4	
テキスト -5	
テキスト -6	
テキスト -7	
テキスト -8	
テキスト -9	
テキスト -10	
テキスト -11	
テキスト -12	
エコモード	エコモードの切り替えに関するパラメータを設定します。
ノーマル	
エコ	
インテリジェント エコ	
セーバー	
ブランク	ブランク画面のオン / オフ制御に関するパラメータを設定します。
オフ	
オン	
スライドショー	スライドショーの　スタート / ストップ　パラメータを設定します。
スタート	
ストップ	

新しいイベントを追加するには、［登録］ボタンをクリックしてください。
イベントを削除するには［削除］ボタンをクリックしてください。
[全て削除] ボタンをクリックすると、現在選択しているプログラムに登録されている全てのイベントを削除します。
[戻る] ボタンをクリックすると、スケジュール管理画面に戻ります。

日付 / 時刻設定

日付 / 時刻の表示および設定を行います。

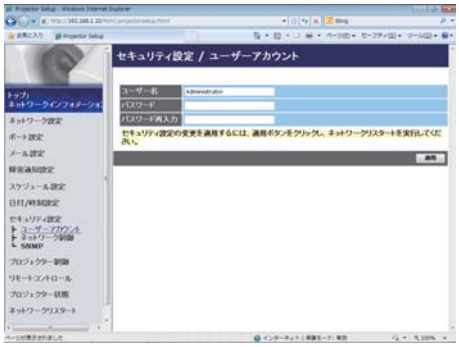
項　目			説　明
現在日付			年 / 月 / 日の形式で本日の日付を設定します。
現在時刻			時：分：秒の形式で現在時刻を設定します。
サマータイム			サマータイムを有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。
	開始		サマータイムを開始する日時を設定します。
		月	サマータイムを開始する月（1 ～ 12）を設定します。
		週	サマータイムを開始する日の曜日が、その月で何週目か（最初、2、3、4、最後）を設定します。
		日	サマータイムを開始する日の曜日（日、月、火、水、木、金、土）を設定します。
		時刻 時	サマータイムを開始する " 時 "（0 ～ 23）を設定します。
		時刻 分	サマータイムを開始する " 分 "（0 ～ 59）を設定します。
	終了		サマータイムを終了する日時を設定します。
		月	サマータイムを終了する月（1 ～ 12）を設定します。
		週	サマータイムを終了する日の曜日が、その月で何週目か（最初、2、3、4、最後）を設定します。
		日	サマータイムを終了する日の曜日（日、月、火、水、木、金、土）を設定します。
		時刻 時	サマータイムを終了する " 時 "（0 ～ 23）を設定します。
		時刻 分	サマータイムを終了する " 分 "（0 ～ 59）を設定します。
時差			グリニッジ標準時に対する時差（時：分）を設定します。コンピュータの設定と同じ時差を設定してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
SNTP	SNTP サーバーアドレス		SNTP サーバーの IP アドレスを設定します。 " ネットワーク設定 " で DNS サーバーのアドレスを設定した場合は、IP アドレスだけでなくドメイン名もお使いいただけます。ホストまたはドメイン名は半角英数字で 255 文字まで入力できます。
	周期		SNTP サーバーから日時の情報を受け取る間隔（時：分）を設定します。

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

●新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（🕮3-49）。
●本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。
● SNTP 機能を有効にするには、時差を設定する必要があります。
●接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。
●本機の内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めします。
●日付時刻を設定してもすぐに時間がずれるような時は、内蔵電池の交換が必要です。

セキュリティ設定



パスワードおよびその他のセキュリティ設定の表示および設定を行います。

項　目		説　明
ユーザーアカウント		ユーザー名とパスワードを設定します。
	ユーザー名	ユーザー名を設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
	パスワード	パスワードを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
	パスワード再入力	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
ネットワーク制御		ネットワーク制御ポート 1（ポート : 23）、ネットワーク制御ポート 2（ポート : 9715）、PJLink ™ Port（ポート : 4352）、マイ イメージポート（ポート : 9716）、メッセンジャーポート（ポート : 9719）（📖3-34）の認証パスワードを設定します。
	認証パスワード	認証パスワードを設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
	認証パスワード再入力	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
SNMP		SNMP 使用時のコミュニティ名を設定します。
	コミュニティ名	コミュニティ名を設定します。 半角英数字で 64 文字まで設定できます。

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖3-49）。
- 英数字 "0 ～ 9"、"a - z" および "A - Z" のみ使用できます。

プロジェクター制御

画面上の項目に関してプロジェクター制御を行います。
項目のカテゴリーがメインメニュー表示されます。大半のカテゴリーにはサブメニューがあります。詳細は下表をご参照ください。

お知らせ

●プロジェクター Web コントロールを使用中に、本機のメニューやリモコンで設定を変更した場合、ウィンドウの表示と実際の設定が一致しないことがあります。その場合には [更新] ボタンをクリックして本機の設定を再読み込みしてください。

項　目	
メイン	電源
	入力ソース
	映像モード
	ブランク オン / オフ
	消音
	静止
	拡大
	拡大位置 V
	拡大位置 H
	テンプレート
	マイ イメージ
	マイ イメージ削除
IWB	IWB モード
	自動キャリブレーション
	手動キャリブレーション
映像	明るさ
	コントラスト
	HDCR
	ACCENTUALIZER
	ガンマ
	色温度
	色の濃さ
	色あい
	画質
	アクティブアイリス
	マイメモリー

（次ページにつづく）

項　目		
表示	アスペクト 入力信号によっては選択したパラメータが設定できないことがあります。	
	オーバースキャン	
	垂直位置	
	水平位置	
	クロック位相	
	水平サイズ	
	オートアジャスト実行	
入力	プログレッシブ	
	VIDEO NR	
	色空間	
	ビデオフォーマット	
	HDMI フォーマット	
	HDMI レンジ	
	COMPUTER- イン	
	フレームロック	
設置	デジタルズーム	
	デジタルシフト　V	
	デジタルシフト　H	
	画像表示位置 (水平)	
	キーストン	キーストン V
		キーストン H
	コーナーフィット	四隅の位置
		四辺のたわみ
	オートエコモード	
	エコモード	
	設置方法	
	スタンバイモード **お知らせ** ●「スタンバイモード」が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときにネットワーク機能は使用できません。ネットワークに接続する前に、「スタンバイモード」を「通常」に設定してください（📖2-21）。	
	モニターアウト	
オーディオ	音量	
	スピーカー	
	音声入力設定	
	マイク音量	

（次ページにつづく）

項　目	
スクリーン	表示言語 [適用] ボタンをクリックすると、プロジェクターの表示言語の設定と合わせて、Web 画面の表示言語も選択した言語に切り替わります。
	メニュー位置 V メニュー位置 H
	ブランク
	オートブランク
	初期画面
	マイスクリーンロック
	メッセージ
	テンプレート
	C.C. - ディスプレイ
	C.C. - モード
	C.C. - チャンネル
その他	オートサーチ
	ダイレクトパワーオン
	オートパワーオフ
	マイボタン - 1 / 2
	リモコン受光部
	リモコン周波数
特別な設定	プレゼンターモード解除 プレゼンターモードを強制的に解除します。プレゼンターモードの詳細については「ネットワークプレゼンテーション」をご参照ください（🕮3-58）。

リモートコントロール

同梱のリモコンの機能を Web リモートコントロール画面で使用できます。

本機の付属品のリモコンと WEB リモコンを同時に使用して本機を操作しないでください。同時に使用すると誤動作するおそれがあります。

- ⏻（点灯 / 消灯）
- COMPUTER IN1
- COMPUTER IN2
- LAN
- USB TYPE A
- USB TYPE B
- HDMI 1
- HDMI 2
- VIDEO
- AV ミュート
- 静止
- ▲ / ▼ / ◀ / ▶
- 決定
- メニュー
- 初期化
- 前ページ
- 次ページ
- スライドショー

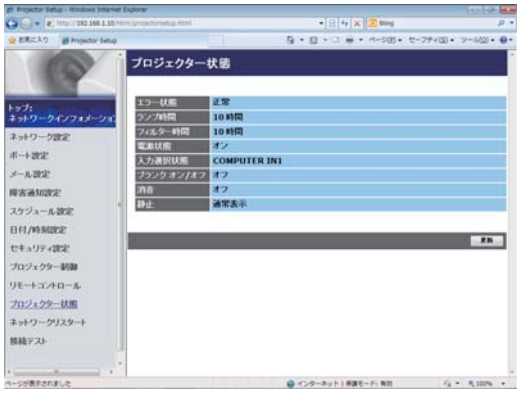
お知らせ

●一回のクリックでは一回の操作しか行うことができません。連続して操作するにはボタンを繰り返しクリックする必要があります。

●ボタンを連続してクリックすると一部のコマンドが正常に送信されないことがあります。少し間をおいて再度クリックしてください。

● [点灯 / 消灯] ボタンをクリックすると、本機の電源を入れる / 切るの確認メッセージが表示されます。そのまま電源の操作を行うには [OK] ボタンを、元の状態に戻すには [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

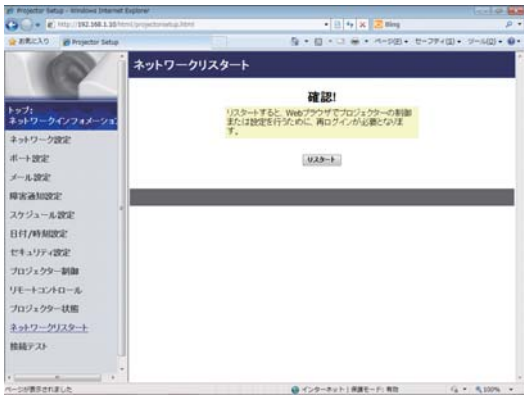
プロジェクター状態



本機の現在の設定および状態を表示します。

項　目	説　明
エラー状態	現在起きているエラー状況を表示します。
ランプ使用時間	ランプの経過使用時間を表示します。
フィルター時間	エアーフィルターの経過使用時間を表示します。
電源状態	本機の電源の状態を表示します。
入力選択状態	選択されている映像入力端子を表示します。
ブランク オン / オフ	ブランク画面のオン / オフ状態を表示します。
消音	消音のオン／オフ状態を表示します。
静止	映像の静止 / 通常表示の状態を表示します。

ネットワークリスタート



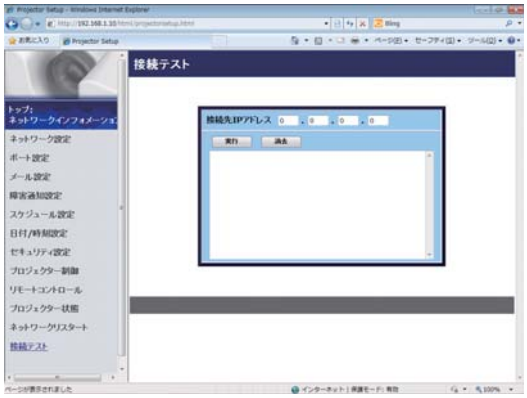
本機のネットワーク接続を再起動します。

項　目	説　明
リスタート	保存した新しい設定を有効にするために、ネットワーク接続を再起動します。

お知らせ

●ネットワーク接続を再起動した後、再び Web コントロールで設定を変更、あるいは本機を操作するには、再起動して 30 秒以上経ってから再度ログインする必要があります。

接続テスト



DNS サーバー、SNTP サーバーなどと、ネットワークが接続しているかどうかを確認することができます。

項　目	説　明
接続先 IP アドレス	接続先の IP アドレスを入力し、[実行] ボタンをクリックすると、接続テストを実行します。

接続できた場合の表示例：

```
PING 192.168.1.200 (192.168.1.200): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.1.200: seq=0 ttl=128 time=2.136 ms
64 bytes from 192.168.1.200: seq=1 ttl=128 time=0.524 ms

--- 192.168.1.200 ping statistics ---
2 packets transmitted, 2 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.524/1.330/2.136 ms
```

接続できなかった場合の表示例：

```
PING 192.168.100.200 (192.168.100.200): 56 data bytes

Destination host unreachable.
```

お知らせ

- ●接続先の IP アドレスの情報は、IT 管理者に問い合わせてください。
- ●ファイアーウォールやパケットフィルタリングなどの設定により、接続確認用のパケットが接続先に到達する前に破棄された場合、接続が正しく行われていても接続テストの結果がエラーとなることがあります。
- ●接続テストの結果の表示は英語のみとなります。

Crestron e-Control®

上図のメイン画面が最初に表示されます。ただし、Tools 画面（🕮**3-54, 55**）で "User Password" を有効に設定していると、右図のようにパスワードの入力を要求するダイアログが表示され、入力するまで操作は有効となりません。設定したパスワード入力後にダイアログが消えて、メイン画面が表示されます。
下記のようにメイン画面の右上にあるタブをクリックして、以下の各画面に表示を切り替えることができます。

タブ	説　明
Log Out	e-Control® からログアウトします。 このタブは、Tools 画面で "User Password" が有効に設定されているときのみ、表示されます。
Tools	Tools 画面を開きます（🕮**3-54, 55**）。
Info	Info 画面を開きます（🕮**3-56**）。
Contact IT Help	Help Desk ボックスを開きます（🕮**3-57**）。

お知らせ

- プロジェクター Web コントロールの " ネットワーク設定 "（🕮**3-33**）で、"Crestron e-Control" が無効に設定されていると、Crestron e-Control® はご利用いただけません。"Crestron e-Control" の設定を有効にして一旦ブラウザを閉じ、再度ブラウザを起動して IP アドレスの入力からやり直してください。
- Crestron e-Control® は、英語でのみ表示されます。
- Crestron e-Control® を使用中に接続が切断されると、"Loading..." の画面が表示されます。本機とコンピュータの接続を確認して、Web 画面を再表示してください。
- Crestron e-Control® の制御は、有線 LAN 経由のみの対応となります。

メイン画面

メイン画面では、プロジェクターの基本的な制御を行うことができます。

お知らせ

●プロジェクターがスタンバイ状態のときは、Power ボタンのみ有効です。

1. 各ボタンで以下の操作を行うことができます。

ボタン	説　明
Power	本機の電源（ランプ）のオン / オフを設定します。
Vol -/ Vol +	音量を調整します。
Mute	消音のオン／オフを設定します。

2. 入力端子
ボタンをクリックして映像の入力端子を切り替えることができます。
現在選択されている映像入力端子に追従してカーソル位置が移動します。

ボタン	説　明
Computer in1	**COMPUTER IN1** 端子からの入力を選択します。
Computer in2	**COMPUTER IN2** 端子からの入力を選択します。
LAN	**LAN** 端子からの入力を選択します。
USB Type A	**USB TYPE A** 端子からの入力を選択します。
USB Type B	**USB TYPE B** 端子からの入力を選択します。
HDMI 1	**HDMI 1** 端子からの入力を選択します。
HDMI 2	**HDMI 2** 端子からの入力を選択します。
Video	**VIDEO IN** 端子からの入力を選択します。

（次ページにつづく）

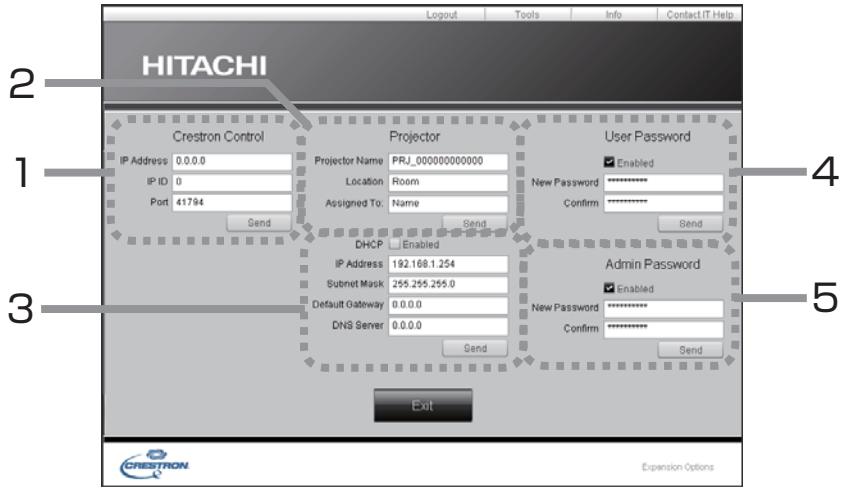
3. 各ボタンで、以下の操作を行うことができます。表示されていないボタンは、（ボタンの）左右端にあるアイコン ◄ / ► をクリックすると表示されます。

ボタン	説　明
Freeze	画面の静止のオン / オフを設定します。
Contrast	コントラストを調節します。
Brightness	明るさを調整します。
Color	色の濃さを調整します。
Sharpness	画質を調整します。
Magnify	画面の拡大設定を + / - ボタンで操作します。 ▲ / ▼ /◄/► ボタンで、拡大箇所を移動できます。
Auto	画面の自動調整を実行します。
Blank	ブランクのオン / オフを設定します。

4. 付属品のリモコンのボタンと同じように操作することができます。

ボタン	説　明
Menu	**MENU** ボタンと同様に動作します。
Enter	**ENTER** ボタンと同様に動作します。
Reset	**RESET** ボタンと同様に動作します。
▲	カーソルボタン▲と同様に動作します。
▼	カーソルボタン▼と同様に動作します。
◄	カーソルボタン ◄ と同様に動作します。
►	カーソルボタン ► と同様に動作します。

Tools 画面



Tools 画面では、本機と Crestron® コントロールシステムの設定を行います。
メイン画面に戻るには、[Exit] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

●全角文字を使用すると、入力された文字は正しく設定されません。
●全項目とも空欄のまま設定することはできません。

1. Crestron Control

Crestron® コントロールシステムに関する設定を行います。

項　目	説　明
IP Address	コントロールシステムの IP アドレスを設定します。
IP ID	コントロールシステムの IP ID を設定します。
Port	コントロールシステムの通信に使用するポート番号を指定します。

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

2. Projector

本機のネットワーク設定を行います。

項　目	説　明
Projector Name	プロジェクター名を設定します。半角英数字で最大 64 文字まで入力できます。
Location	設置場所名を設定します。半角英数字で最大 32 文字まで入力できます。
Assigned To:	利用者名を設定します。半角英数字で最大 32 文字まで入力できます。

以下の文字とスペースを使用できます。

!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[\]^_`{|}~

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

（次ページにつづく）

3. Projector

本機のネットワーク設定を行います。

項　目	説　明
DHCP	DHCP を有効にします。
IP Address	DHCP が無効の場合の IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	DHCP が無効の場合のサブネットを設定します。
Default Gateway	DHCP が無効の場合のデフォルトゲートウェイを設定します。
DNS Server	DHCP が無効の場合の DNS サーバーのアドレスを設定します。

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

4. User Password

User Password を設定します。Crestron e-Control® を開始するときに User Password を要求するには、チェックボックスにチェックを入れてください。

項　目	説　明
New Password	パスワードを設定します。 半角英数字で最大 26 文字まで入力できます。以下の文字とスペースを使用できます : !"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[\]^_`{|}~
Confirm	確認のためパスワードを再入力します。パスワードが一致しないとエラーメッセージが表示されます。

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

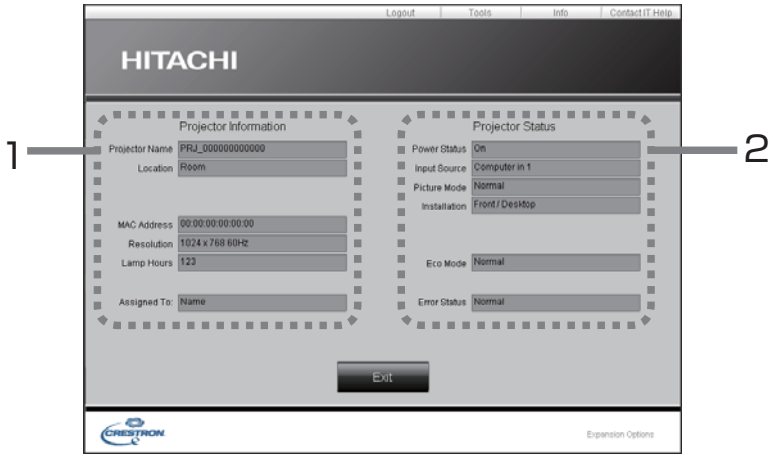
5. Admin Password

Admin Password を設定します。Tools 画面を表示する前に Admin Password の入力を要求するには、チェックボックスにチェックを入れてください。

項　目	説　明
New Password	パスワードを設定します。 半角英数字で最大 26 文字まで入力できます。以下の文字とスペースを使用できます : !"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[\]^_`{|}~
Confirm	確認のためパスワードを再入力します。パスワードが一致しないとエラーメッセージが表示されます。

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

Info 画面



1. Projector Information

項　目	説　明
Projector Name	プロジェクター名（🕮**3-54**）を表示します。
Location	本機に設定した設置場所名（🕮**3-54**）を表示します。
MAC Address	本機の有線 LAN MAC アドレスを表示します。
Resolution	現在入力されている信号の解像度と垂直周波数を表示します。
Lamp Hours	現在のランプの使用時間を表示します。
Assigned To:	本機に設定した利用者名（🕮**3-54**）を表示します。

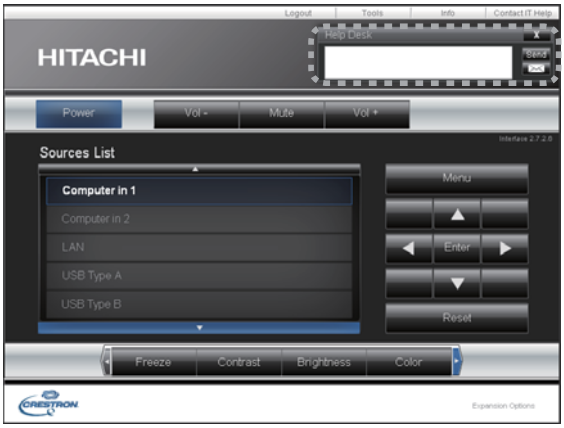
2. Projector Status

項　目	説　明
Power Status	本機の電源の状態を表示します。
Input Source	選択されている映像入力端子を表示します。
Picture Mode	現在の映像モードの設定を表示します。
Installation	現在の設置方法の設定を表示します。
Eco Mode	現在のエコモードの設定を表示します。
Error Status	現在起きているエラー状況を表示します。

お知らせ

● "Projector Name"、"Location"、および "Assigned To:" に設定している文字数が多い場合、途中までしか画面に表示されない場合があります。

Help Desk ボックス



Crestron RoomView® Express の管理者との間で、メッセージを送受信することができます。

ボタン	説　明
Send	メッセージを送信します。
	受信したメッセージを確認します。

緊急警告表示

Crestron RoomView® Express の管理者が緊急メッセージを送信すると、e-Control® の画面上にメッセージが表示されます。この緊急メッセージには、チャット形式で返信メッセージを送ることができます。
緊急メッセージの下に表示されているボックスにメッセージを入力し、[Send] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 緊急警告表示についての詳細は、Crestron RoomView® Express の説明書をご参照ください。
- Crestron RoomView® からの緊急メッセージは、メッセンジャー機能（🕮3-62 ～ 64）のリアルタイムテキストと同様にプロジェクターの画面に表示されます。他のリアルタイムテキストが表示されているときは、この緊急メッセージによってデータが上書きされます。ただし、表示優先度の高いリアルタイムテキストが表示されている場合は上書きされず、緊急メッセージは表示されません。詳細はメッセンジャー機能のアプリケーションに付属の説明書をご参照ください。

ネットワークプレゼンテーション

概要

コンピュータ画面や音声を本機へネットワーク経由で転送し、本機で表示または再生することができます。また、本機能により、プレゼンテーションや会議を円滑に行うことができます。

ネットワークプレゼンテーション機能を使用するには、専用のアプリケーション、"LiveViewer" が必要です。
"LiveViewer" は同梱のアプリケーション CD から、ご使用のコンピュータにインストールしてください。

"LiveViewer" のインストール、および "LiveViewer"、ネットワークプレゼンテーションについての詳細は、"LiveViewer" の説明書をご参照ください。

お知らせ

- 使用できる "LiveViewer" のバージョンは、ご使用のプロジェクターの機種によって異なります。最新版をご使用の際、"LiveViewer" の説明書で適合する機種グループをご確認ください。本機の所属する機種グループはグループ G です。
- Mac OS をご利用の方は、ウェブサイトよりソフトウェアをダウンロードしてください。詳細は「アプリケーション」（🕮3-13, 14）をご参照ください。

表示モード

LiveViewer にはシングル PC モードとマルチ PC モードの 2 種類の表示形式があります。

シングル PC モード

コンピュータ / スイッチャーからの映像を、無線 LAN または有線 LAN 経由でフルスクリーンで表示します。

■プレゼンターモード

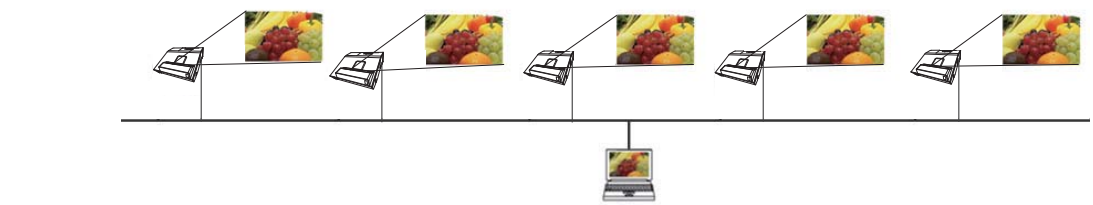
シングル PC モード時、LiveViewer にてプレゼンターモードが ON の場合、他のコンピュータから本機へのアクセスはブロックされます。プレゼンテーション中に他のコンピュータからの映像が送信されて不意に画面が切り替わることはありません。プレゼンターモードは LiveViewer のオプションメニューで ON にすることができます。

マルチ PC モード

最大 4 台のコンピュータからの映像を同時に表示することができます。

マルチプロジェクターモード

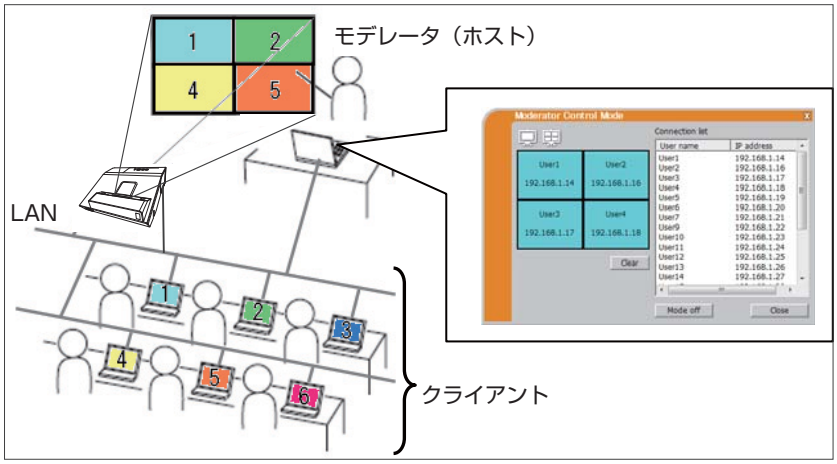
マルチプロジェクターモードにより、無線 LAN または有線 LAN 経由で最大 12 台のプロジェクターとコンピュータを同時に接続することができます。



本機能は Windows 版 LiveViewer のみ対応しています。

モデレータコントロールモード

1 台のコンピュータをモデレータ（ホスト）として指定し、無線 LAN または有線 LAN 経由で本機と接続したコンピュータ（クライアント）を操作できます。クライアントからは LiveViewer および本機を操作できないため、円滑に会議や授業を行うことができます。



本機能は Windows 版 LiveViewer のみ対応しています。

ポート番号

LiveViewer で使用しているポート番号を以下に示します。

ポート番号	プロトコル
5500	TCP
5900	TCP
9720	TCP

お知らせ

●他のアプリケーションが上記のポートを使用している場合、LiveViewer および Projector Quick Connection が動作しない可能性があります。

マイ イメージ

ネットワーク経由で静止画像（マイ イメージ）を本機に転送し、表示させることができます。
最大 4 つの画像データを本機に転送、登録することができます。

マイ イメージの転送には、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。

コンピュータおよびプロジェクターの設定と操作に関しては、アプリケーションのマニュアルをご参照ください。
転送した画像を表示するには、ネットワークメニューでマイ イメージを選択してください。詳しくは「ネットワーク」-「マイ イメージ」の説明をご覧ください（🕮3-25）。

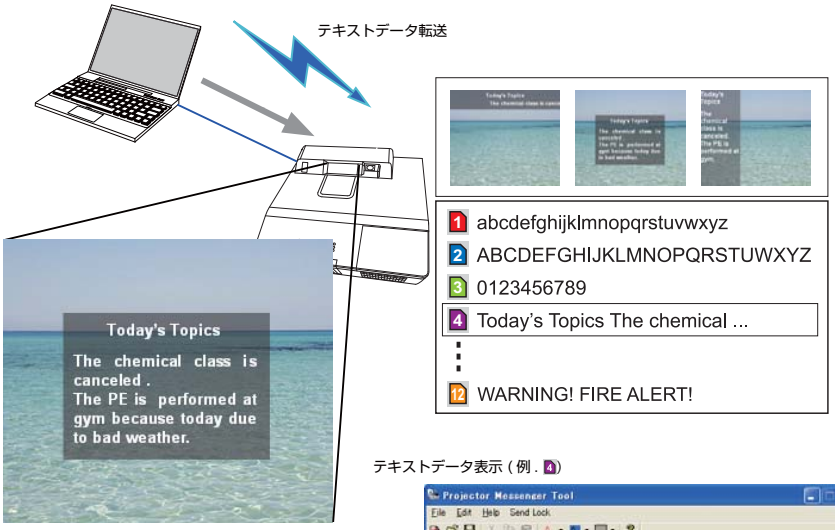
お知らせ

- マイ イメージは、マイ イメージ機能を割り当てたマイボタン（1、2）（🕮2-30）でも表示することができます。
- マイ イメージ機能で本機に転送した画像は、スケジュール機能を使用して表示することができます。詳細はスケジュール機能（🕮3-72 ～ 74）をご覧ください。
- USB ディスプレイ使用中にマイ イメージデータを画面に表示させた場合、USB ディスプレイのアプリケーションは終了してしまいます。マイ イメージ表示を終了させますと、USB ディスプレイが再起動します。
- 無線 LAN と有線 LAN で、同時にマイ イメージ画像を本機に転送すると、本機がデータを正常に処理できない場合があります。

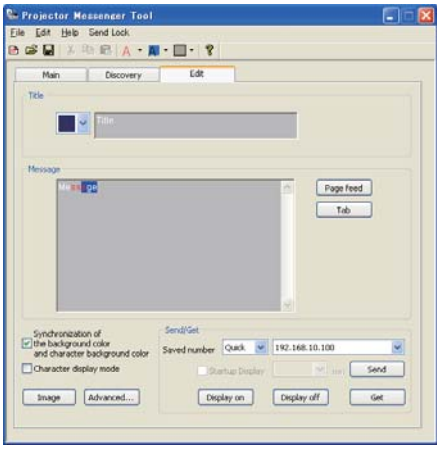
メッセンジャー

概要

テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し、表示させることができます。また、音声データを本機内部で再生することができます。
テキストデータをネットワーク経由で転送してリアルタイムで表示させる方法と、本機に保存されたテキストデータから選択して表示させる方法が可能です。
本機には最大 12 項目のテキストデータを登録することができます。



テキストデータ表示 (例 .)



メッセンジャー機能を使用するには、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。テキストデータを編集、転送、表示するにはアプリケーションをお使いください。

コンピュータおよびプロジェクターの設定と操作に関しては、アプリケーションのマニュアルをご参照ください。

対応言語

メッセンジャー機能で表示できる言語を以下に示します。

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ノルウェー語、オランダ語、ポルトガル語、スウェーデン語、フィンランド語、デンマーク語、ブラジルポルトガル語、インドネシア語、リトアニア語、エストニア語、ラトビア語、ポーランド語、チェコ語、ハンガリー語、スロベニア語、クロアチア語、ロシア語、トルコ語、ギリシャ語、日本語、中国語（簡体）、中国語（繁体）、韓国語、ベトナム語

表示スタイル

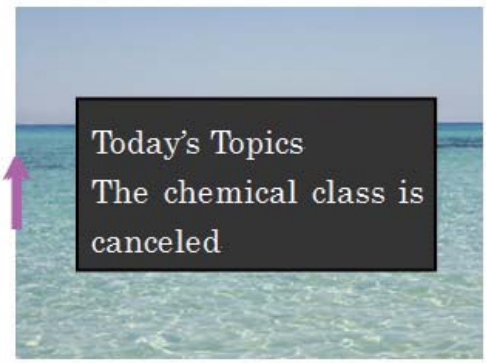
メッセージの表示形式は、４種類用意されています。以下それぞれについて説明します。

1) スクロール表示

画面上部のメッセージ表示領域に、メッセージが左方向にスクロールします。

2) ボックス表示

四角形のメッセージ表示領域内でメッセージが上から下方向に縦スクロールします。



（次ページにつづく）

3) ポップオン表示

四角形のメッセージ表示領域内で、メッセージを一括で表示させます。

4) ピクチャーサイド表示

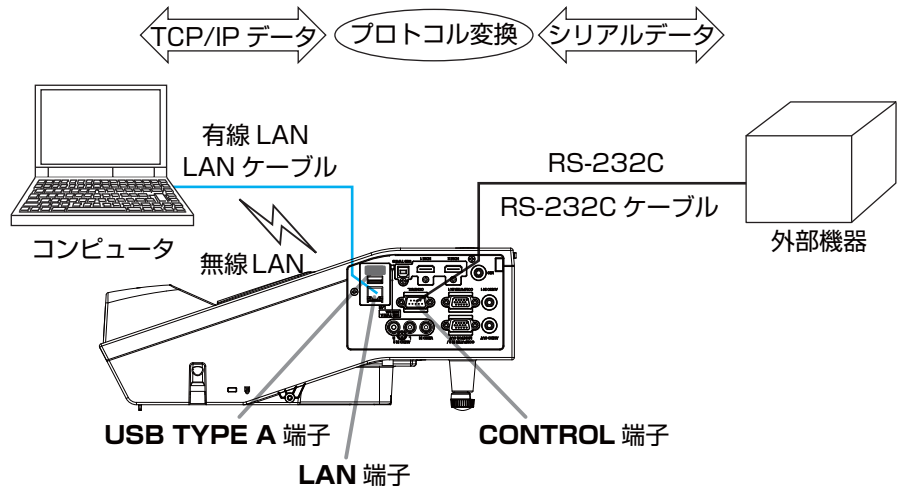
画面の左側か右側のメッセージ表示領域にメッセージが表示されます。本表示方法は、ワイドモデルのプロジェクターのみ対応しています。

お知らせ

- 転送されたテキストデータは、メッセンジャー機能を割り当てたマイボタン（1、2）（📖**2-30**）でも表示することができます。
- テキストデータは、スケジュール機能を使用して Web ブラウザでも表示することができます。詳しくはスケジュール機能（📖**3-72 ～ 74**）をご覧ください。
- 無線 LAN と有線 LAN から同時にデータが送信された場合、本機でデータを正常に処理できない場合があります。

ネットワークブリッジ

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインターフェースの相互変換を行うネットワークブリッジ機能に対応しています。
ネットワークブリッジ機能を使うと、本機と RS-232C 通信で接続した外部機器を、本機とネットワーク（有線 / 無線 LAN）で接続したコンピュータから、ネットワーク端末と同様に制御することができます。



機器の接続

1) 有線 LAN を使用する場合は、本機の **LAN** 端子とコンピュータの **LAN** 端子を LAN ケーブルで接続してください。
   無線 LAN を使用する場合は、本機の **USB TYPE A** 端子に USB ワイヤレスアダプターを接続してください。
2) 本機の **CONTROL** 端子と外部機器の **RS-232C** 端子を、RS-232C ケーブルで接続します。

お知らせ

●接続の前に接続する各機器の説明書をお読みになり、正しく接続してください。RS-232C の接続については、本機と接続する外部機器の端子の仕様を確認の上、適切な通信ケーブルを使用してください（📖**4-7**）。

通信設定

本機のネットワークブリッジに関する通信設定は、本機の「通信設定」メニューから設定を行ってください。詳細メニューから、「その他」メニューの「特別な設定」から「通信設定」を選択し、「通信設定」メニューを表示してください（📖2-36）。

1)「通信タイプ」で「ネットワークブリッジ」を選択してください（お使いの接続により、無線または有線のどちらかを選択してください）。
2)「シリアル設定」で「ボーレート」と「パリティ」を、接続した外部機器の RS-232C 設定に合わせて設定してください。

項　目	条　件
ボーレート	4800bps/9600bps/19200bps/38400bps
パリティ	なし / 奇数 / 偶数
データ長	8bit（固定）
スタートビット	1bit（固定）
ストップビット	1bit（固定）

3) ご使用に合わせて **CONTROL** 端子の「通信方式」を設定してください。

お知らせ

- 工場出荷時、「通信タイプ」は「オフ」に設定されています。
- 「通信設定」メニューで設定を行ってください。設定が適切でないと、通信に不具合が生じる場合があります。
- 「通信タイプ」を「ネットワークブリッジ」に設定している時は、**CONTROL** 端子経由で本機を制御するための RS-232C コマンドを受信できません。

通信ポート

ネットワークブリッジ機能をご利用の際は、Web ブラウザの「ポート設定」で「ネットワークブリッジポート」の設定を行い、コンピュータから本機へデータを送信してください（📖3-34）。

お知らせ

- 1024 ～ 65535 のうち、4352、5500、5900、9715、9716、9719、9720、41794 以外の番号を " ネットワークブリッジポート " の " ポート番号 " に設定してください。初期設定では 9717 が設定されています。

通信方式

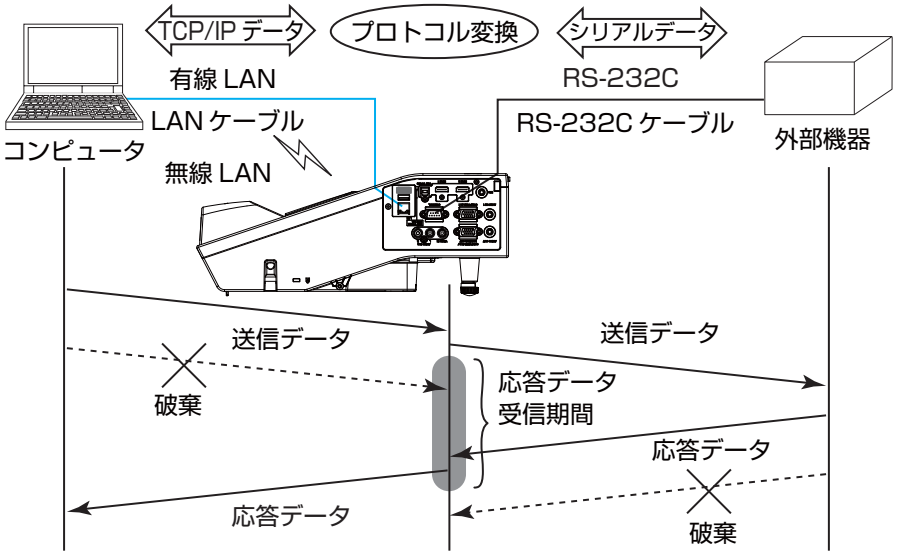
「通信タイプ」で「ネットワークブリッジ」が選択されている場合のみ、メニューから通信方式を選択できます（🕮2-36）。

半二重通信 ↔ 全二重通信

■半二重通信

この方式では、本機は一度に送信または受信のどちらか一方のみ行います。
外部機器からの応答データを待っている間は、本機はコンピュータからのデータを受信しません。本機が応答データを外部機器から受信するか、または応答データ受信期間が経過した後でコンピュータからデータを受信できます。
本機はデータの送信と受信を制御し、通信の同期をとります。

半二重通信を選択した場合は、以下の説明に従って「応答データ受信期間」を設定してください。



「応答データ受信期間」メニューで外部機器からの応答データ待ち時間を設定してください
（🕮【応用編】「その他」＞「特別な設定」＞「通信設定」）。
オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s (↔ オフ)

お知らせ

- ●半二重通信では、本機は一度に最大 254 バイトまで送信できます。
- ●半二重通信方式でも外部機器からの応答を監視しないシステムでは、「応答データ受信期間」を「オフ」に設定すると、コンピュータからのコマンドを連続して送信することができます。工場出荷時は「オフ」に設定されています。

■全二重通信

この方式では、本機は外部機器の応答を監視せず、コンピュータと外部機器の両方と随時に送受信を行います。
コンピュータと外部機器の双方から非同期でデータが送信されます。送信データと応答データの同期をとりたいときは、コンピュータから送受信の制御を行ってください。

お知らせ

- ●全二重通信方式でコンピュータから送受信の制御を行う場合も、本機のデータ処理状況によっては送受信データに欠落が生じ、正しく制御できない場合があります。

その他の機能

電子メール機能による自動通知

本機にメンテナンスが必要な場合やエラーが発生したとき、指定したメールアドレスに自動的に警告メッセージを送信させることができます。

お知らせ

●最大 5 つの受信電子メールアドレスを設定できます。
●本機の電源が突然切れた場合は、電子メールを送信できないことがあります。
●メール送信時に認証が必要となるメールサーバーをご使用の場合、本機能はご利用いただけません。
●ご使用のメール環境によってはメールが正しく送信できない場合があります。

プロジェクターからメールで通知できるエラー / 警告項目を以下に示します。

項　目	説　明
カバーエラー	ランプカバーがきちんと装着されていません。
ファンエラー	冷却ファンが動作していません。
ランプエラー	ランプが点灯しません。 ランプ、および本機内部が高温になっている可能性があります。
温度エラー	本機内部が高温になっている可能性があります。
エアフローエラー	内部の温度が上がっています。 エアフィルターが目詰まりしている可能性があります。
低温エラー	本機の内部温度が低すぎる可能性があります。
フィルターエラー	エアフィルターの使用時間が通知設定時間を超えました。
その他のエラー	上記以外のエラーが発生しました。 表示された場合は、販売店に連絡してください。
スケジュール実行エラー	スケジュールで登録されたイベントの実行に失敗しました。
ランプ時間警告	ランプ時間が指定された警告時間を超えました。
フィルター時間警告	フィルター時間が指定された警告時間を超えました。

お知らせ

- " フィルターエラー " は、「その他」メニューの「特別な設定」-「フィルター掃除通知」（📖2-34）で設定された、フィルター掃除通知の表示設定時間を超えると通知のメールが送信されます。「フィルター掃除通知」を「無効」に設定していると通知のメールは送信されません。
- " ランプ時間警告 " は、ランプ時間をメールで通知します。プロジェクター Web コントロールで設定したランプ時間を過ぎると、メールが送信されます。
- " フィルター時間警告 " は、フィルター時間をメールで通知します。プロジェクター Web コントロールで設定したフィルター時間を過ぎると、メールが送信されます。

電子メール機能による自動通知を使用するには、Web ブラウザから以下の項目を設定してください。

メール設定

1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [メール設定] を選択します。
2) メール設定ページの各項目を設定します。詳細はメール設定（📖3-36）をご参照ください。
3) [適用] ボタンをクリックして、設定を保存してください。
4) 電子メールの設定が正しいことを確認して、[テストメール送信] ボタンをクリックしてください。
   下のような形式のメールが指定したメールアドレスに送信されます。

件名 : Test Mail ＜プロジェクター名＞
本文 : Send Test Mail

Date	＜テスト実施日＞
Time	＜テスト実施時間＞
IP Address	＜本機の IP アドレス＞
MAC Address	＜本機の MAC アドレス＞

障害通知設定

1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [障害通知設定] を選択します。
2) 障害通知設定ページの各項目を設定します。詳細は障害通知設定（📖3-37）をご参照ください。
3) [適用] ボタンをクリックして、設定を保存してください。

警告メッセージは、次のような形式の電子メールで送信されます。

メール件名: ＜メール件名＞＜プロジェクター名＞
本文: ＜メール本文＞

Date	＜エラー / 警告の発生日＞
Time	＜エラー / 警告の発生時間＞
IP Address	＜本機の IP アドレス＞
MAC Address	＜本機の MAC アドレス＞

SNMP によるプロジェクター管理

SNMP (Simple Network Management Protocol) により、本機のエラー / 警告情報をネットワークに接続されたコンピュータから管理することができます。

お知らせ

- SNMP 機能の実行はネットワーク管理者が行うことをお勧めします。
- SNMP によって本機を監視できるようにするには、SNMP マネージャがコンピュータにインストールされている必要があります。

標準 MIB (MIB-2)

標準 MIB (MIB-2) の system のグループに定義されている以下の項目を参照することができます。

項　目	説　明
sysName	プロジェクター名が設定されています。
sysLocation	設置場所に関する情報です。プロジェクター Web コントロール - [ネットワーク設定] - [共通設定] の sysLocation (SNMP) で設定した文字列が設定されています。
sysContact	管理者の連絡先に関する情報です。プロジェクター Web コントロール - [ネットワーク設定] - [共通設定] の sysContact (SNMP) で設定した文字列が設定されています。

拡張 MIB

プロジェクター用の拡張 MIB を使用すると、プロジェクターの現在の設定情報を取得することができます。プロジェクター用拡張 MIB は、プロジェクター Web コントロールの [ポート設定] ページからダウンロードすることができます。

トラップ

プロジェクターがエラー / 警告状態となった場合に指定したアドレスへ通知を送ることができます。通知できるエラー / 警告は、電子メール機能による自動通知（🕮3-68, 69）で示したメールで通知できる項目に加えて、以下の通知を送ることができます。

項　目	説　明
Cold Start	本機に電源が供給されている場合、下記の通り通知します。 •「スタンバイモード」（🕮2-21）が「通常」モードに設定されている場合：本機が電源に接続され、スタンバイ状態になりました。 •「スタンバイモード」（🕮2-21）が「省電力」モードに設定されている場合：本機のパワーが入り、ランプが点灯しました。
Authentication Failure	未認証の SNMP コミュニティからの SNMP アクセスがありました。

SNMP によるプロジェクター管理を行うには、Web ブラウザから以下を設定してください。

ポート設定（📖**3-34, 35**）
1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [ポート設定] を選択します。
2) [MIB ファイルのダウンロード] をクリックして MIB ファイルをダウンロードします。
3) SNMP Port のポートオープンの [有効] チェックボックスをオンにして SNMP ポートを開いてください。トラップアドレスにエラー / 警告発生時に SNMP トラップを送信するアドレスを設定してください。

セキュリティ設定（📖**3-44**）
1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [セキュリティ設定] を選択します。
2) "SNMP" を選択して、コミュニティ名を設定してください。

障害通知設定（📖**3-37**）
エラー / 警告のトラップ転送を設定します。
1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [障害通知設定] を選択します。
2) 通知設定する各エラー / 警告項目を選択してください（📖**3-68, 69**）。
3) SNMP トラップの [有効] チェックボックスをオンにしてください。SNMP トラップ転送の必要がない場合は、[有効] チェックボックスをオフにしてください。
4) 設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

お知らせ
- ダウンロードした MIB ファイルは、使用する SNMP マネージャプログラムへ登録してください。
- [ポート設定] および [セキュリティ設定] の設定を変更した場合は、必ずネットワークリスタートを実行してください（📖**3-49**）。

スケジュール機能

スケジュール機能により電源オン / オフなどのイベントを設定することができ、本機の " 自己管理 " を可能にします。
スケジュールは、プロジェクター Web コントロールまたは本機の「その他」-「スケジュール」メニューで設定することができます。「設置」メニューの「スタンバイモード」(🕮2-21) を「省電力」に設定する場合や、AC 電源をオフにする場合は、電池の取り付けが必要です（🕮1-49）。

スケジュールの設定を行う前に、以下の注意事項を確認してください。

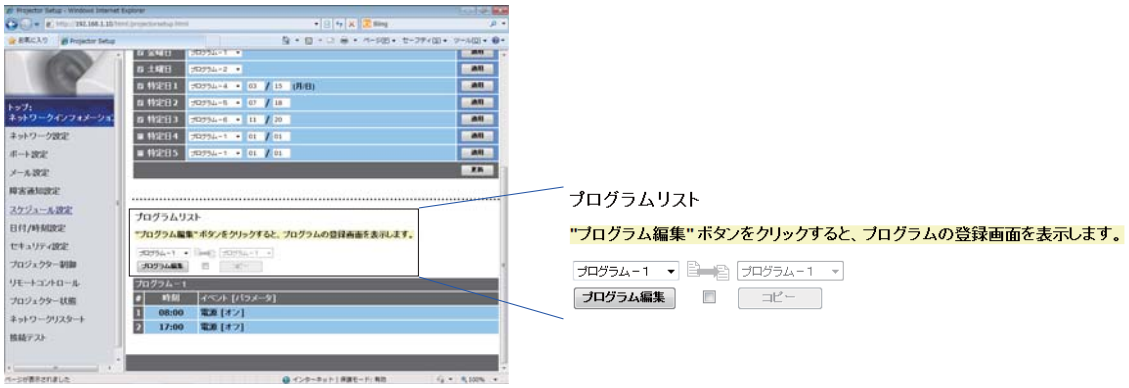
お知らせ

- スケジュールは、プロジェクター本体の「その他」-「スケジュール」メニューでも設定することができます。（🕮2-31、32）
- スケジュールのプログラムは最大 16 通りまで作成することができます。また、1 つのプログラムに対して最大 20 個のイベントを登録することができます。
- 工場出荷状態では、プログラム 1 ～ 16 まで全てのプログラムにおいて、イベントは登録されていません。初めてスケジュール機能を使用する時は、先にプログラムを作成しておく必要があります。
- スケジュールの優先順位は、1）特定日、2）曜日の順になります。
- 最大 5 つの特定日を登録できます。同日の同時刻に 2 つ以上のイベントが設定されている場合、小さい番号の方が優先されます（例 :‘特定日 No. 1’ は ‘特定日 No. 2’ およびその他より優先されます）。
- 同日の同時刻に複数のイベントを設定すると、" 電源 オン " のイベントは最後に実行されます。
- スケジュール設定を有効にする前に、必ず日付 / 時刻を設定してください（🕮3-42）。
- 本機を移動したら、スケジュールを調整する前に、プロジェクターに設定されている日時を確認してください。
- 内蔵時計の時間は、ずれたり初期化されてしまう場合があります。正確な時間を維持するためには SNTP を使用することをお勧めします。
- 本機で、温度エラー、ランプエラーなどの何らかのエラーが発生していると、スケジュールは正常に実行されません。
- 本機のランプが点灯していない、または表示するデータが本機に登録されていないと、" マイ イメージ " と " メッセンジャー " のイベントは正常に実行されません。
- 本機のセキュリティ機能が働き、プロジェクターの使用が制限された状態では、" 入力ソース " と " マイ イメージ " のイベントは正常に実行されません。
- 本機のランプが点灯していない、または画像データの入った USB メモリが本機に挿入されていないと、“スライドショー” のイベントは正常に実行されません。
- “スライドショー” のイベントが実行されるときには、本機は自動的に入力端子を **USB TYPE A** 端子に切り替えます。
- “スライドショー” のイベントでは、本機に挿入された USB メモリのルートディレクトリに保存された画像ファイルが表示されます。

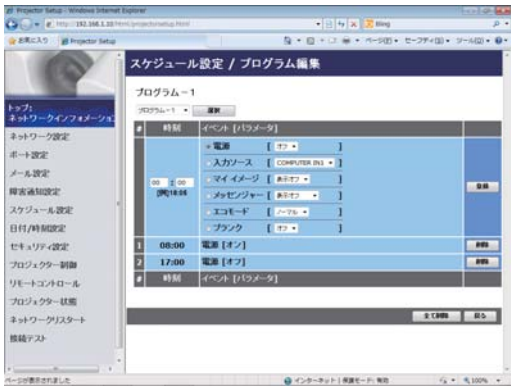
以下、Web 画面でスケジュールの設定を行う手順について説明します。

スケジュール機能を使用するには、始めにプログラムの作成が必要です。プログラムには、電源制御や入力端子の切り替えなど各種イベントと、それらを実行する時刻を登録します。工場出荷状態では、全てのプログラムでイベントは登録されていません。以下の手順に従ってプログラムを作成してください。
既にプログラムを作成している場合は、手順 6）へお進みください。

1) プロジェクターWeb コントロール画面のメインメニューで [スケジュール設定] を選択してください。



2) プログラムリストの下にあるドロップダウンリストで作成するプログラムの番号を選択し、[プログラム編集] をクリックすると、下図のようなプログラム編集画面が表示されます。下図は、プログラム - 1 の編集画面を示しています。



3) 時刻、イベント、パラメータを設定してから、[登録] ボタンをクリックしてください。
イベントを削除する場合は [削除] ボタンをクリックしてください。
現在選択しているプログラムの全てのイベントを削除したい時は、[全て削除] ボタンをクリックしてください。

（次ページにつづく）

4) 続けて別の番号のプログラムを編集したい時は、ドロップダウンリストで編集したいプログラムを選択し、[選択] ボタンをクリックしてください。選択したプログラムの編集画面が表示されます。

5) プログラムの作成が終了したら、[戻る] ボタンをクリックし、スケジュール管理画面に戻ってください。

ここからは、手順 1) ～ 5) で作成したプログラムを実際にスケジュールに割り当てる手順について説明します。

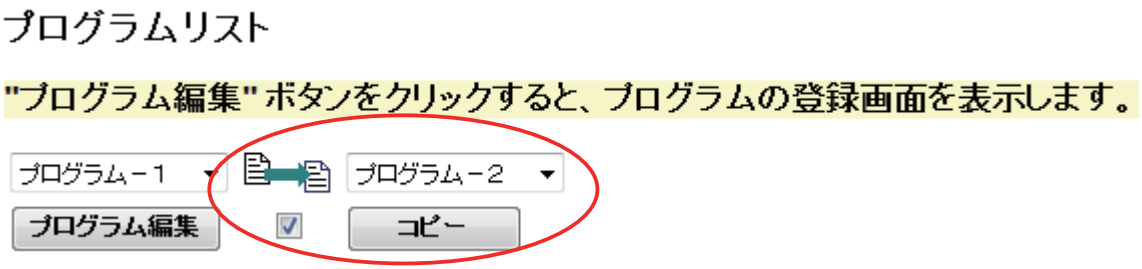
6) スケジュール管理画面で、実行するスケジュール（例えば、毎週月曜日に実行する場合は " 月曜日 "）のチェックボックスをオンにします。

7) 使用するプログラムをドロップダウンリストから選択します。画面下部のプログラムリストで、各プログラムに登録されているイベント情報を確認することができます。
特定日 1 ～ 5 を指定する場合は、日付（月 / 日）の設定を入力します。

8) [適用] ボタンをクリックすると、プロジェクターがスケジュール設定を受け付けます。
同様に、実行したいスケジュールについて、手順 6) ～ 8) を繰り返します。

以上で、スケジュールの設定は完了です。
最後に、プロジェクターの時刻が正しく設定されていることを確認してください。

■プログラムのコピー方法について
作成したプログラムを別のプログラムにコピーして使用したい時は、 アイコン下のチェックボックスをオンにします。コピー先のプログラムをドロップダウンリストから選択し、[コピー] ボタンをクリックしてください。
現在選択しているプログラムと同じプログラムをコピー先に指定することはできません。



ネットワークからのコマンド制御

ネットワーク経由で RS-232C コマンドを使用し、本機を操作、設定することができます。

コマンド制御ポート

コマンド制御には、以下の 2 ポートが割り当てられています。

TCP #23（ネットワーク制御 ポート 1（ポート : 23））
TCP #9715（ネットワーク制御 ポート 2（ポート : 9715））

お知らせ

●コマンド制御は上記の 2 ポートのみで可能です。

コマンド制御設定（🕮3-34）

以下の項目を Web ブラウザから設定してください。

例：本機の IP アドレスが 192.168.1.10 の場合：

1) Web ブラウザのアドレスバーに“http://192.168.1.10/”を入力し、選択画面でプロジェクター Web コントロールを選択してください。
2) ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。
3) メインメニューの [ポート設定] をクリックしてください。

4) ネットワーク制御 ポート 1（ポート : 23）の " ポートオープン "[有効] のチェックボックスをオンにしてネットワーク制御 ポート 1 を有効にしてください（🕮3-34）。認証設定が必要なときは、" 認証 "[有効] のチェックボックスをオンにして認証を有効にしてください。必要ない場合は、チェックボックスをオフにしてください。
5) ネットワーク制御 ポート 2（ポート : 9715）の " ポートオープン "[有効] のチェックボックスをオンにしてネットワーク制御 ポート 2 を有効にしてください。認証設定が必要なときは、" 認証 "[有効] のチェックボックスをオンにして認証を有効にしてください。必要ない場合は、チェックボックスをオフにしてください。
6) 設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

ネットワークからのコマンド制御（つづき）

認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です（🕮3-44）。

7) メインメニューの [セキュリティ設定] をクリックしてください。
8) " ネットワーク制御 " を選択し、認証パスワードを設定してください。

＊下記の「お知らせ」をご覧ください。

9) 設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 認証パスワードは、ネットワーク制御 ポート 1（ポート : 23）、ネットワーク制御 ポート 2（ポート : 9715）、PJLink ™ ポート（ポート : 4352）、マイ イメージポート（ポート : 9716）、メッセンジャーポート（ポート : 9719）で共通になります。
- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（🕮3-49）。

コマンド形式

通信ポートによってコマンド形式に一部違いがあります。

● TCP #23

・送信データ形式

RS-232C 通信と同じコマンドをそのまま使用できます。応答データの形式は RS-232C 通信と同じです（📖4-9）。

ただし、認証が有効となっている場合は、認証エラーが発生した場合に以下の応答を返します。

＜認証エラー応答＞

応答	エラーコード	
0x1F	0x04	0x00

● TCP #9715

・送信データ形式

以下のように、RS-232C コマンドの先頭にヘッダ（0 x 02）、データ長（0 x 0D）、チェックサム（1 バイト）、接続 ID（1 バイト）を加えます。

ヘッダ	データ長	RS-232C コマンド	チェックサム	接続 ID
0x02	0x0D	13 バイト	1 バイト	1 バイト

ヘッダ → 0x02, 固定
データ長 → RS-232C コマンドのバイト長（0x0D, 固定）
RS-232C コマンド → 0xBE、0xEF で始まる RS-232C コマンド（13 バイト）
チェックサム → ヘッダからチェックサムまでの和の下位 8 ビットが 0 となる値
接続 ID → 0 ～ 255 のランダムな値（この数値は応答データに付加されます）

（次ページにつづく）

・送信データ形式
接続 ID（データは送信データ形式の接続 ID データと同一）が RS-232C コマンドの応答データに付加されます。

<ACK 応答 >

応答	接続 ID
0x06	1 バイト

<NAK 応答 >

応答	接続 ID
0x15	1 バイト

< エラー応答 >

応答	エラーコード	接続 ID
0x1C	2 バイト	1 バイト

< データ応答 >

応答	データ	接続 ID
0x1D	2 バイト	1 バイト

< ビジー応答 >

応答	ステータスコード	接続 ID
0x1F	2 バイト	1 バイト

< 認証エラー応答 >

応答	認証エラーコード		接続 ID
0x1F	0x04	0x00	1 バイト

ネットワーク接続の自動切断

接続後に 30 秒間通信がなければ、TCP 接続は自動的に切断されます。

認証

認証が有効となっている場合、認証が成功していないコマンドを本機は受信しません。本機の認証には MD5（Message Digest 5）というアルゴリズムを使用しています。認証機能を有効にして本機をコマンド制御するには、本機から送信されるランダムな 8 バイトデータと認証パスワードを MD5 アルゴリズムで処理した認証データを、送信コマンドの先頭に追加する必要があります。

以下は認証パスワードが“password”に設定され、ランダムな 8 バイトデータが“a572f60c”の場合の例です。

1) 本機とコンピュータをネットワークで接続します。
2) 本機からランダムな 8 バイトデータ“a572f60c”を受信します。
3) 受信したランダムな 8 バイトデータと認証パスワードを結合した値、
   “a572f60cpassword”
   を MD5 アルゴリズムで処理します。
4) MD5 アルゴリズムでの処理の結果、
   e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde
   という認証データを得られます。
5) 認証データをコマンドの先頭に付加し、
   e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde + コマンド
   というデータを送信します。
6) 送信データが正しければ、コマンドが実行されて ACK またはデータ応答が返されます。送信データが正しくない場合、認証エラー応答が返されます。

お知らせ

●ネットワークで接続している間、2 回目以降のコマンドデータ送信では認証データを省略できます。

Crestron RoomView®

Crestron RoomView® は、Crestron Electronics, Inc. の提供する、マルチユーザリソース・マネジメント・プログラムです。プロジェクターやその他の AV 機器など、システム全体を一括して管理・制御するアプリケーションです。
Crestron RoomView® についての詳細は、以下の Crestron® のホームページをご覧ください。

URL: http://www.crestron.com

システム全体の管理を行うのに、以下の通信インタフェースをご利用になれます。

1) Crestron RoomView® Express / Crestron RoomView® Server Edition

RoomView® Express および RoomView® Server Edition は、Crestron Electronics, Inc. の提供するソフトウェアです。AV 機器全体を管理し、ヘルプデスクとの通信や、警告メッセージを送ったりすることができます。

ソフトウェアについての詳細は、下記の web サイトをご覧ください。

URL: http://www.crestron.com/getroomview

2) Crestron e-Control®

Crestron e-Control® は、web ブラウザ上で操作できる、遠隔制御システムのコントローラーです（🕮3-51 ～ 57）。

トラブルシューティング

本機のネットワーク機能に関して、以下のような現象が起きている場合は、故障ではない場合があります。修理を依頼される前に下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。処置後も現象が改善しない場合は販売店にご相談ください。

プロジェクターと通信できない（有線ネットワークをご使用の場合）

確認事項	対処法
プロジェクターの電源が入っていますか？	プロジェクターの電源を入れてください。
ルーター等のネットワーク機器の電源が入っていますか？	ネットワーク機器の電源を入れてください。
スタンバイモードが省電力設定になっていませんか？	スタンバイモードが省電力に設定されている時はスタンバイ状態ではネットワーク機能はご使用できません。スタンバイ状態でネットワーク機能をご使用になりたい場合は、通常モードに設定してください。
LAN ケーブルが接続されていますか？	LAN ケーブルを差してください。
ネットワークインフォメーション – 有線 LAN メニューで MAC アドレスが正しく表示されていますか？	本機に張り付けられている MAC アドレスとネットワークインフォメーション – 有線 LAN メニューで表示される MAC アドレスが異なる場合、販売店に問い合わせてください。
IP アドレスなどのネットワーク設定は正しく設定されていますか？	ネットワークインフォメーション – 有線 LAN でネットワーク設定を確認してください。 詳細は、ネットワーク管理者に相談してください。
ルーター等でファイヤーウォールやパケットフィルタリングが設定されていませんか？	ネットワーク管理者に相談してください。
プロジェクターの無線 LAN 設定と有線 LAN 設定が同じネットワークアドレスに設定されていませんか？	無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。無線 LAN と有線 LAN で別のネットワークアドレスに設定してください。
コンピュータの有線ネットワークアダプターが有効になっていますか？	お使いのコンピュータのマニュアルを参照し、有線ネットワークアダプターを有効にしてください。

プロジェクターと通信できない（無線ネットワークをご使用の場合）

確認事項	対処法
プロジェクターの電源が入っていますか？	プロジェクターの電源を入れてください。
アクセスポイント等のネットワーク機器の電源が入っていますか？	ネットワーク機器の電源を入れてください。
スタンバイモードが省電力設定になっていませんか？	スタンバイモードが省電力に設定されている時はスタンバイ状態ではネットワーク機能はご使用できません。スタンバイ状態でネットワーク機能をご使用になりたい場合は、通常モードに設定してください。
IP アドレスなどのネットワーク設定は正しく設定されていますか？	ネットワークインフォメーション – 無線 LAN メニューでネットワーク設定を確認してください。 詳細は、ネットワーク管理者に相談してください。
USB ワイヤレスアダプター（オプション品：USB-WL-11N）がプロジェクターの USB TYPE A 端子に接続されていますか？	USB ワイヤレスアダプターを接続してください。
オプション品の USB ワイヤレスアダプターを使用していますか？	本機で使用できる USB ワイヤレスアダプターはオプション品の USB-WL-11N のみです。
ネットワークインフォメーション – 無線 LAN メニューで MAC アドレスが正しく表示されていますか？	ネットワークインフォメーション – 無線 LAN メニューで表示される MAC アドレスと USB ワイヤレスアダプターに刻印されている MAC アドレスが異なる場合、USB ワイヤレスアダプターを差し直してください。それでも状況が変わらなければ、USB ワイヤレスアダプターが故障している可能性があります。販売店に問い合わせてください。
USB ワイヤレスアダプターの LED が点滅していますか？	USB ワイヤレスアダプター接続後、1 分以上待っても点滅しない場合は、USB ワイヤレスアダプターを差し直してください。 それでも状況が変わらなければ、USB ワイヤレスアダプターが故障している可能性があります。販売店に問い合わせてください。

（次ページにつづく）

プロジェクターと通信できない（無線ネットワークをご使用の場合）（つづき）

確認事項	対処法
アクセスポイント等でファイヤーウォールやパケットフィルタリングが設定されていませんか？	ネットワーク管理者に相談してください。
接続する無線ネットワークに暗号が使用されていませんか？	プロジェクターの暗号設定を再設定して、再接続してください。
プロジェクターで対応していない暗号方式が使用されていませんか？	プロジェクターの対応している暗号方式は、以下の通りです。 ・WPA2-PSK (AES) ・WPA2-PSK (TKIP) ・WPA-PSK (AES) ・WPA-PSK (TKIP) ・WEP128bit ・WEP64bit 上記の暗号方式以外の暗号を使用している無線ネットワークには、本機を接続することはできません。
SSID 検索リストメニューに表示される無線ネットワークの信号強度が弱くないですか？	・プロジェクターと無線機器の距離を近づけてください。 ・スチール製のドアが近くにある場合、電波が届かない可能性があります。その場合は、ドアから離してください。 ・干渉している無線機器が存在する可能性もありますので、ネットワーク管理者に相談してください。
5GHz 帯の無線を使用していませんか？	USB ワイヤレスアダプター（USB-WL-11N）は、5GHz 帯には対応していません。2.4GHz 帯のみ使用できます。
プロジェクターの無線 LAN 設定と有線 LAN 設定が同じネットワークアドレスに設定されていませんか？	無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。無線 LAN と有線 LAN で別のネットワークアドレスに設定してください。
コンピュータの無線ネットワークアダプターが有効になっていますか？	お使いのコンピュータのマニュアルを参照し、無線ネットワークアダプターを有効にしてください。

無線 LAN と有線 LAN が同時に使えない

確認事項	対処法
プロジェクターの無線 LAN 設定と有線 LAN 設定が同じネットワークアドレスに設定されていませんか？	無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。無線 LAN と有線 LAN で別のネットワークアドレスに設定してください。
ルーターを経由して異なるネットワークへアクセスしようとしていませんか？	異なるネットワークにアクセスできるのは有線 LAN と無線 LAN のどちらか片方です。 有線 LAN、無線 LAN のどちらか片方のデフォルトゲートウェイを 0.0.0.0 にしてください。

Web（プロジェクター Web コントロール）が正しく表示されない

確認事項	対処法
Web ブラウザに正しい URL を入力していますか？	Web ブラウザにプロジェクターの IP アドレスを入力してください。
JavaScript が有効になっていますか？	JavaScript を有効にしてください。 設定方法は、ご使用の Web ブラウザによって異なります。詳細は Web ブラウザのヘルプ等をご参照ください。
推奨している Web ブラウザを使用していますか？	推奨ブラウザは、Internet Explorer®6/7/8/9/10 です。 推奨ブラウザ以外では正しく表示されない可能性があります。
前に表示した画面のキャッシュが残っていませんか？	キャッシュをクリアしてください。 設定方法は、ご使用の Web ブラウザによって異なります。詳細は Web ブラウザのヘルプ等をご参照ください。

Crestron e-Control® が表示されない

確認事項	対処法
Adobe® Flash® Player がインストールされていますか？	Crestron e-Control® を表示するためには、Adobe® Flash® Player が必要です。 Adobe® Flash® Player をインストールしてください。
Adobe® Flash® Player 非対応のブラウザを使用していませんか？	Adobe® Flash® Player 対応のブラウザを使用してください。
プロジェクター Web コントロールのネットワーク設定 - その他の設定画面で Crestron e-Control® の設定が無効になっていませんか？	プロジェクター Web コントロールのネットワーク設定 - その他の設定 画面で Crestron e-Control® の設定を有効にしてください。

メールが正しく送れない

確認事項	対処法
テストメールが正しく送れますか？	プロジェクター Web コントロールのメール設定の画面で [テストメール送信] ボタンを押してテストメールが正しく送信できることを確認してください。
メール設定は正しいですか？	プロジェクター Web コントロールのメール設定の画面で設定を確認してください。
送信者 E-mail アドレスの設定は正しいですか？	有効なメールアドレスを設定してください。
特定のエラー / 警告に対するメールだけですか？	プロジェクター Web コントロールの障害通知設定の画面で特定のエラー / 警告が送信される設定になっているか確認してください。

特定のアドレスにだけメールが届かない

確認事項	対処法
メールアドレスの設定は正しいですか？	プロジェクター Web コントロールのメール設定の画面で設定を確認してください。
メールサーバーでアドレスのフィルタリングや転送設定が行われていませんか？	ネットワーク管理者に相談してください。

スケジュールが正しく実行されない

確認事項	対処法
プロジェクターの電源が入っていますか？	プロジェクターの電源を入れてください。
スタンバイモードが省電力設定になっていませんか？	スタンバイモードが省電力に設定されている時は、スタンバイ状態ではスケジュール機能はご使用できません。スケジュール機能をご使用になる場合は、スタンバイモードを通常モードに設定してください。
時刻の設定は正しいですか？	日付と時刻の設定を確認してください。
スケジュールで表示する画像データが登録されていますか？（マイ イメージのイベントを設定している場合）	専用のアプリケーションソフトを使用して、表示する画像データをプロジェクターに登録してください。
スケジュールで表示するメッセージデータが登録されていますか？（メッセンジャーのイベントを設定している場合）	専用のアプリケーションソフトを使用して、表示するメッセージデータをプロジェクターに登録してください。
プロジェクターのランプは点灯していますか？	マイ イメージ、メッセンジャー、ブランクのイベントは、ランプが点灯していないと実行されません。マイ イメージ、メッセンジャー、ブランクのイベントに関しては、ランプが点灯している状態で実行されるようなスケジュールのプログラムを作成してください。

※プロジェクターの状態によっては、スケジュール機能が正しく動作しないことがあります。

（次ページにつづく）

スケジュールが正しく実行されない（つづき）

確認事項	対処法
使用するプログラムが正しく設定されていますか？	プロジェクター Web コントロールのスケジュール設定の設定を確認してください。
同時刻に設定されているイベントがありませんか？	イベントによっては、同時刻だと実行できないイベントもあります。時間をずらすか、順序を入れ替えてください。

※プロジェクターの状態によっては、スケジュール機能が正しく動作しないことがあります。

時刻の設定が正しくない

確認事項	対処法
電池は入っていますか？	電池を入れてください。 電池が入っていても時刻がずれる場合は、電池が消耗していることが考えられます。その場合は、電池を交換してください。
日付時刻の設定が正しく設定されていますか？	プロジェクター Web コントロールの日付 / 時刻設定メニューもしくはプロジェクター本体の日付と時刻の設定メニューで設定を確認してください。
ネットワーク経由で時刻を取得する場合、ネットワークに正しく接続されていますか？	ネットワークに接続してください。
ネットワーク経由で時刻を取得する場合、SNTP サーバーの設定が正しく行われていますか？	SNTP サーバー設定を確認してください。 SNTP サーバーの設定に関してはネットワーク管理者に確認してください。
ネットワーク経由で時刻を取得する場合、時差の設定が正しく行われていますか？	ネットワーク経由で時刻を取得する場合は、時差の設定を行わないと正しい時刻が表示されません。 時差の設定を行ってください。

ネットワークブリッジを使用して外部機器の制御ができない

確認事項	対処法
ネットワークブリッジの設定が有効になっていますか？	その他 – 特別な設定 – 通信設定 – 通信タイプメニューの設定を確認してください。
スタンバイモードの設定は省電力モードになっていませんか？	スタンバイモードの設定が省電力モードに設定されている時は、ネットワークブリッジを使用することはできません。スタンバイモードの設定を通常モードに設定し、通信タイプメニューでネットワークブリッジ（有線 / 無線）を設定してください。
シリアル設定が正しいですか？	プロジェクターと外部機器のシリアル設定を確認してください。